

平 成 23 年 度

# 野々市町の教育

野々市町教育委員会

# 愛と和の町民憲章

遙かに靈峰白山を仰ぐ野々市町は、古くから加賀の中心として栄えたところです。

わたくしたちは、この恵まれた自然環境と歴史・文化・産業の豊かな町に住むことを大きな誇りとし、限りなく平和で繁栄することを願い、ここに町民憲章を定めます。

## 1. 郷土を愛し、緑ゆたかな

住みよい町をつくりましょう。

### 1. 伝統を重んじ、教育文化の

香り高い町をつくりましょう。

### 1. 健康を増進し、活気みなぎる

明るい町をつくりましょう。

### 1. 勤労を尊び、感謝と奉仕の心で

温かい町をつくりましょう。

### 1. 秩序を守り、笑顔でふれ合う

和やかな町をつくりましょう。



町花木 ツバキ

# 目 次

I.	町勢概況	1
1.	野々市町のあゆみ	1
2.	人口と世帯数の推移	2
3.	平成23年人口ピラミッド	2
II.	予算の概要	3
1.	野々市町一般会計予算の規模	3
2.	施策の重点	3
3.	教育費予算の規模	3
4.	一般会計予算額の構成比	4
5.	教育費予算額の構成比	4
6.	教育予算歳出の状況	5
III.	教育目標及び基本方針	6
IV.	教育行政	7
1.	教育委員会会議	7
2.	教育委員会機構図	7
3.	教育委員会事務事業点検・評価	8
V.	学校教育	9
1.	基本方針及び重点事項	9
(1)	基本方針	9
(2)	重点事項	9
2.	町立小・中学校教育目標	10
	小学校・中学校の校名の由来、校旗及び校章の意味	13
3.	学校教育施策体系	15
(1)	教育活動	16
(2)	児童・生徒	18
(3)	教育環境	18
(4)	研修	19
4.	教育施設	20
(1)	学校施設	20
(2)	通学区域	21
(3)	町立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数	21
(4)	町立小学校数・学級数・児童数及び教職員数	22
(5)	特別支援学級の状況	22
(6)	町立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数	22
(7)	中学校卒業生進路状況	23
(8)	児童・生徒の推移	23
(9)	私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数	24
(10)	石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数	24
(11)	石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数	24
(12)	石川県公立大学法人石川県立大学学生数及び教職員数	25

(13) 石川県公立大学法人石川県立大学学科別学生数	25
(14) 金沢工業高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数	26
(15) 金沢工業高等専門学校学科別生徒数	27
(16) 金沢工业大学学生数及び教職員数	27
(17) 金沢工业大学学科別学生数	28
<b>VI. 生涯学習</b>	<b>29</b>
1. 基本方針及び重点事項	29
(1) 基本方針	29
(2) 重点事項	29
2. 生涯学習施策体系	30
(1) 生涯学習体制の整備	31
(2) 活動の推進	32
3. 生涯学習施設	41
(1) 施設の概要	41
(2) 施設利用の仕方	41
(3) 施設利用状況	42
(4) 町立図書館分類別蔵書構成	42
<b>VII. 文化</b>	<b>43</b>
1. 基本方針及び重点目標と努力事項	43
(1) 基本方針	43
(2) 重点事項	43
2. 文化施策体系	44
(1) 文化遺産の保全と活用	45
(2) 芸術文化の振興	50
<b>VIII. スポーツ振興</b>	<b>58</b>
1. 基本方針及び重点事項	58
(1) 基本方針	58
(2) 重点事項	58
2. スポーツ振興施策体系	59
(1) スポーツ振興体制の確立	60
(2) スポーツ活動の推進	60
(3) スポーツ団体の育成	62
3. 体育施設	67
(1) 社会体育施設	67
(2) 学校体育開放施設	69
<b>資料</b>	
各種委員会委員等	71
歴代教育委員	79
町内施設住所・電話番号一覧	80
町内施設配置図	81

# I. 町勢概況

## 1. 野々市町のあゆみ

靈峰白山を望む手取扇状地の扇央東部に位置する野々市町には、縄文時代後期中葉より晩期全般にわたる大集落跡である史跡御経塚遺跡をはじめ、巨大な塔心礎や古瓦・土器類が無数に出土した白鳳時代の大寺院の跡である史跡末松廃寺跡など数多くの遺跡が所在しています。特に末松廃寺跡は、加賀の古代文化の鍵をにぎるものとして注目を浴び、我が国ではじめて造られた銀錢「和同開珎」も発見されています。

中世においては、加賀守護として富樫氏が活躍し、富樫政親が加賀一向一揆の衆徒に滅ぼされるまで富樫氏は野々市で国政を執りました。その結果、当地は戸数5千戸を越える加賀における政治・経済・文化の中心地として栄えたと伝えられています。

藩政時代は北陸道の一宿駅として名をとどめていましたが、明治末から大正にかけて全国にさきがけて耕地整理が行われ穀倉地帯として、名実ともに加賀米の中心地となって農業が盛んに行われてきました。

また昭和30年から32年にかけて野々市町と富奥村、郷村、押野村の一町三村が合併編入して新しい野々市町が生まれました。

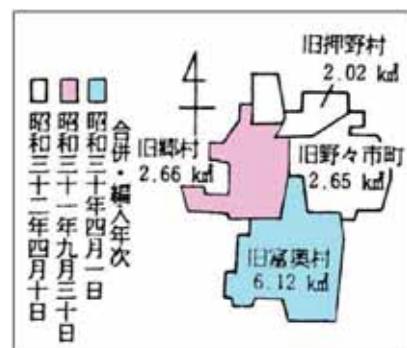
以来、交通の要衝として商業と近郊農業を産業の核として、土地区画整理事業の施工により急速に都市化が進む中、国勢調査で人口5万人を達成し、市制への移行を踏まえたまちづくりを進めています。住民同士のコミュニケーションをより生み出せるようにと、地域のふれあいを大切に考えて造られた庁舎は新しい交流・新しいまちづくりを生み出す場所として活躍しています。

誰もが気軽に安心して交流できる環境を整え、さらなる発展をめざしています。



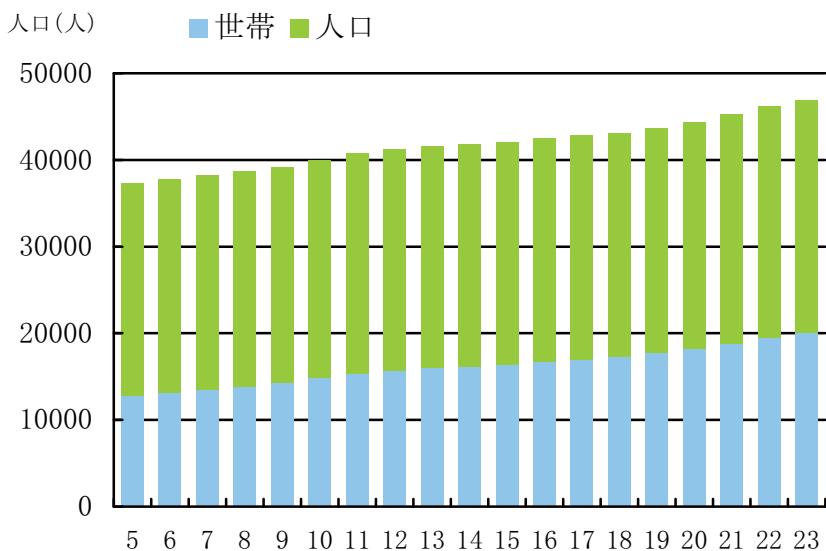
町 章

昭和35年6月15日制定。章は平仮名で“のの”を組合せ分銅を形成し、町の融和と発展を象徴した簡潔清爽な意匠である。



野々市町は石川県のほぼ中央部に位置し、山海のない平坦地で北と東側を金沢市、南と西側を白山市とそれぞれ接しています。  
北緯  $36^{\circ} 31' 45''$  東西  $4.5\text{ km}$   
東經  $136^{\circ} 37' 60''$  南北  $6.7\text{ km}$   
海拔最高／最低  $49.9 / 9.8\text{ m}$   
面積  $13.56\text{ km}^2$  (建設省国土地理院の調査による)  
石川県面積に対する割合…… $0.32\%$

## 2. 人口と世帯数の推移

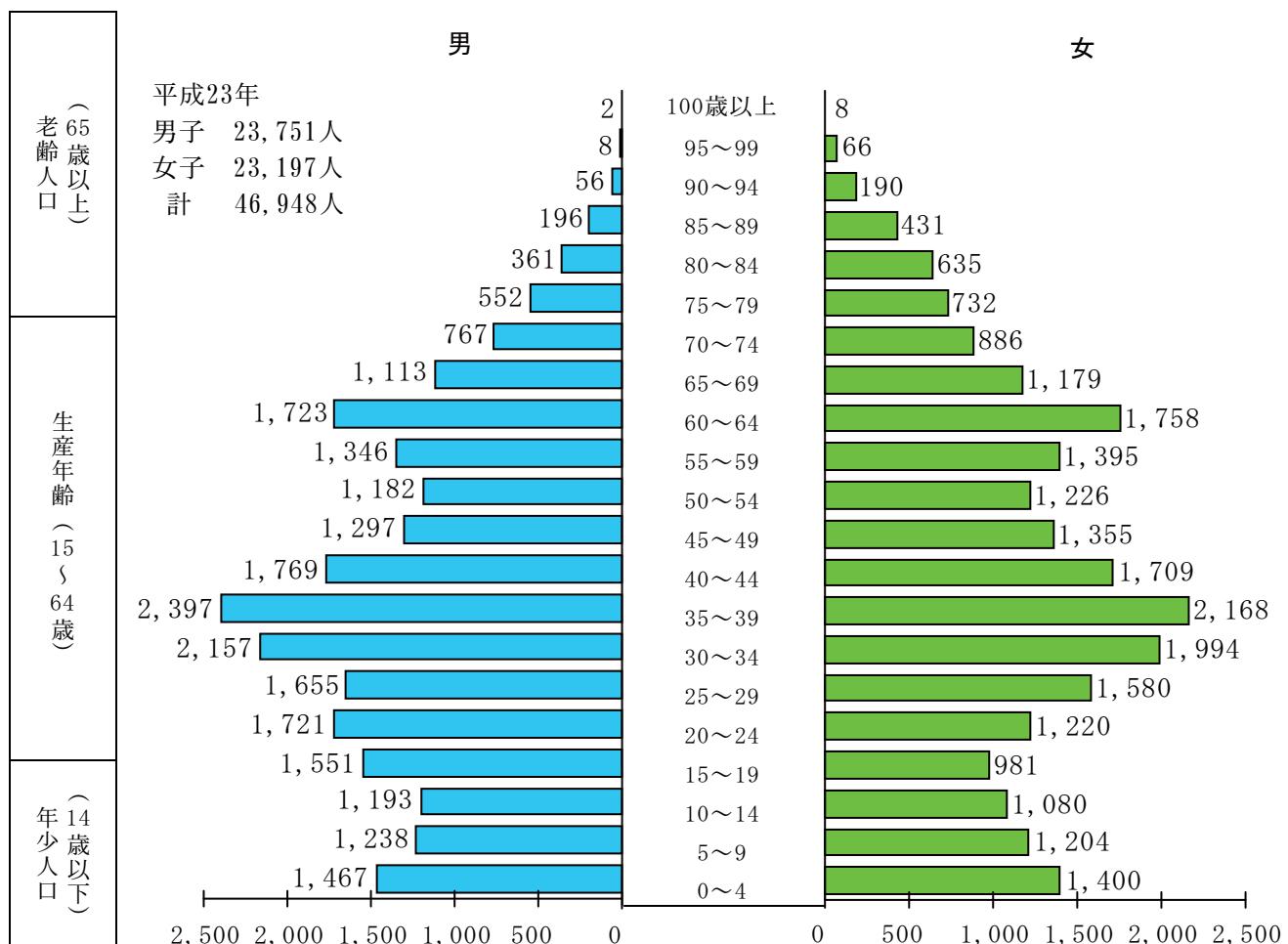


各年3月31日現在

年	人口	世帯数
5	37,342	12,855
6	37,883	13,195
7	38,198	13,487
8	38,616	13,795
9	39,190	14,284
10	39,969	14,811
11	40,746	15,284
12	41,280	15,729
13	41,549	15,994
14	41,813	16,121
15	42,069	16,343
16	42,449	16,652
17	42,795	16,952
18	43,106	17,308
19	43,627	17,726
20	44,341	18,153
21	45,192	18,768
22	46,216	19,504
23	46,948	20,042

## 3. 平成23年人口ピラミッド

平成23年3月31日現在



## II. 予算の概要

### 1. 野々市町一般会計予算の規模

平成23年度当初予算額	148億4,000万円
平成22年度当初予算額	165億4,000万円
対前年度比較	△ 17億0,000万円
増減率	10.3%の減

### 2. 施策の重点

☆ 共有と連携のまちづくり ☆

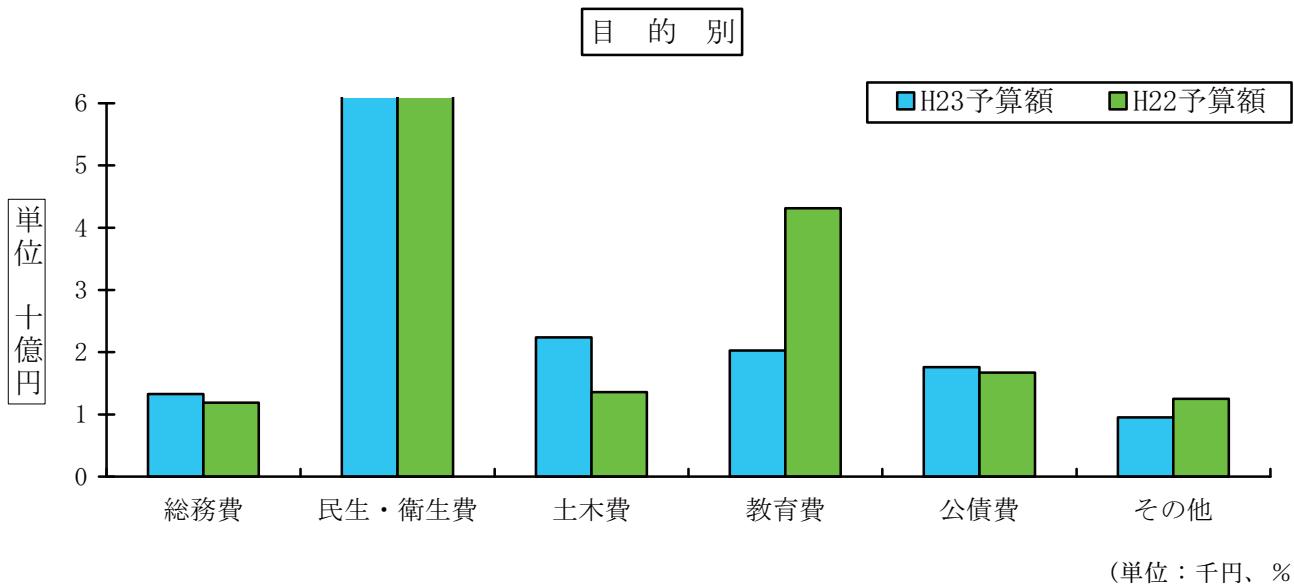
#### 【基本目標】

- ◎ 人が集う魅力ある都市
- ◎ 緑に包まれた暮らし心地のよい都市
- ◎ 思いやりに支えられる心やさしい都市
- ◎ 元気で楽しく暮らせる都市
- ◎ だれもが参画できる都市

### 3. 教育費予算の規模

平成23年度当初予算額	20億2,685万7千円
平成22年度当初予算額	43億1,459万円
対前年度比較	△ 22億8,773万3千円
増減率	53.0%の減
対一般会計構成比	13.7%

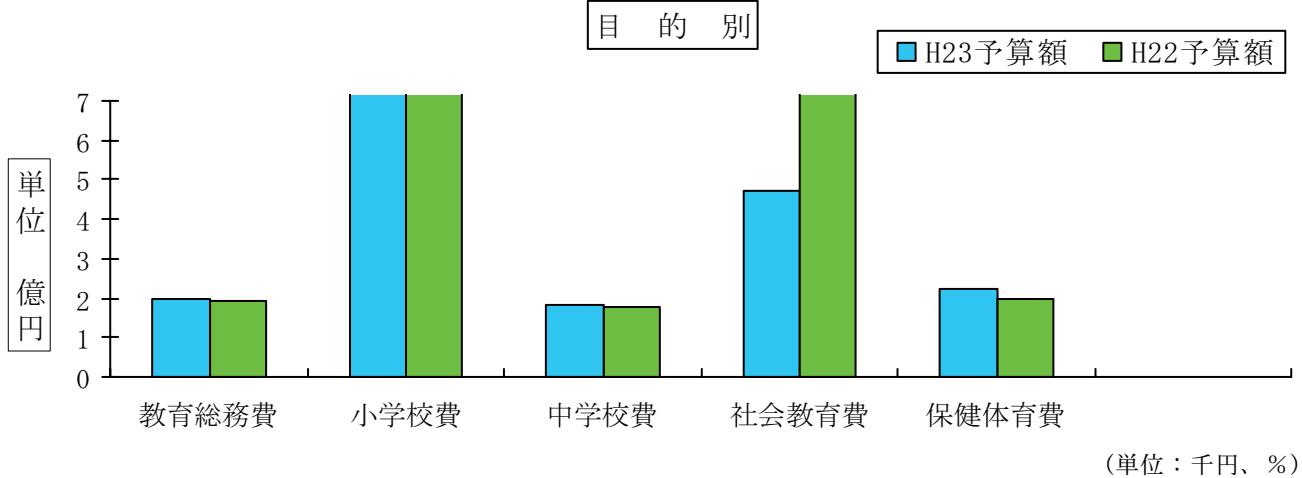
#### 4. 一般会計予算額の構成比



区分	平成23年度		平成22年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比		
総務費	1,325,368	8.9	1,197,369	7.2	127,999	10.7
民生・衛生費	6,537,339	44.1	6,737,507	40.7	△200,168	△3.0
土木費	2,242,473	15.1	1,364,219	8.3	878,254	64.4
教育費	2,026,857	13.7	4,314,590	26.1	△2,287,733	△53.0
公債費	1,756,281	11.8	1,670,720	10.1	85,561	5.1
その他	951,682	6.4	1,255,595	7.6	△303,913	△24.2
合計	14,840,000	100.0	16,540,000	100.0	△1,700,000	△10.3

その他（議会費、労働費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費、諸支出金、予備費）

#### 5. 教育費予算額の構成比



区分	平成23年度		平成22年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比		
教育総務費	198,203	9.8	191,688	4.5	6,515	3.4
小学校費	950,551	46.9	2,426,902	56.2	△1,476,351	△60.8
中学校費	181,793	9.0	176,327	4.1	5,466	3.1
社会教育費	472,366	23.3	1,322,229	30.6	△849,863	△64.3
保健体育費	223,944	11.0	197,444	4.6	26,500	13.4
合計	2,026,857	100.0	4,314,590	100.0	△2,287,733	△53.0

## 6. 教育予算歳出の状況

(単位：千円)

区分	平成23年度		平成22年度		増減	前年比 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)	A-B (C)	C/B × 100
教育費	2,026,857	99.64	4,314,590	99.83	△ 2,287,733	△ 53.02
1 教育総務費	198,203	9.74	191,688	4.44	6,515	3.40
1 教育委員会費	3,138	0.15	2,610	0.06	528	20.23
2 事務局費	166,420	8.18	160,724	3.72	5,696	3.54
3 事務局振興費	14,091	0.69	14,209	0.70	△ 118	△ 0.83
4 特殊教育費	834	0.04	834	0.04	0	0.00
5 教育センター費	13,720	0.67	13,311	0.65	409	3.07
2 小学校費	950,551	46.73	2,426,902	119.31	△ 1,476,351	△ 60.83
1 管理費	834,803	41.04	2,334,942	114.79	△ 1,500,139	△ 64.25
2 教育振興費	97,048	4.77	83,760	4.12	13,288	15.86
3 給食センター費	18,700	0.92	8,200	0.40	10,500	128.05
3 中学校費	181,793	8.94	176,327	8.67	5,466	3.10
1 管理費	79,113	3.89	73,610	3.62	5,503	7.48
2 教育振興費	33,105	1.63	34,385	1.69	△ 1,280	△ 3.72
3 給食センター費	69,575	3.42	68,332	3.36	1,243	1.82
4 社会教育費	472,366	23.22	1,322,229	65.00	△ 849,863	△ 64.28
1 社会教育総務費	90,285	4.44	96,294	4.73	△ 6,009	△ 6.24
2 青少年教育費	11,554	0.57	12,173	0.60	△ 619	△ 5.09
3 社会教育振興費	53,353	2.62	60,232	2.96	△ 6,879	△ 11.42
4 図書館費	19,737	0.97	19,141	0.94	596	3.11
5 文化財保護費	165,606	8.14	145,202	7.14	20,404	14.05
6 文化振興費	131,831	6.48	989,187	48.63	△ 857,356	△ 86.67
5 保健体育費	223,944	11.01	197,444	9.71	26,500	13.42
1 保健体育総務費	43,483	2.14	46,940	2.31	△ 3,457	△ 7.36
2 保健体育施設費	161,231	7.93	134,136	6.59	27,095	20.20
3 保健体育振興費	19,230	0.95	16,368	0.80	2,862	17.49
労働費						
1 労働諸費						
1 女性センター費	7,315	0.36	7,289	0.36	26	0.36

### **III. 教育目標及び基本方針**

#### **【教育目標】**

「人格の完成」を目指すこととした教育基本法の崇高な理念をふまえ、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指すとともに、町民一人ひとりが互いの個性や人間性を尊重しながら、生涯にわたって自らの人格形成に励み、平和で豊かな地域社会づくりに貢献できるような人間の育成をめざす。

#### **【基本方針】**

- 1 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身につけた児童生徒の育成を目指す。
- 2 町民参画の生涯学習活動を展開するための環境整備と学習機会の充実を図る。
- 3 家庭・地域の教育力を高め、青少年が心豊かに育つまちづくりを進める。
- 4 郷土の伝統芸能を保存継承するとともに、文化財の保護活用を図る。
- 5 芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、新しい町民文化の創造をめざす。
- 6 健康で活力に満ちた生活を実現するため、スポーツ・レクリエーション活動の機会と充実を図る。

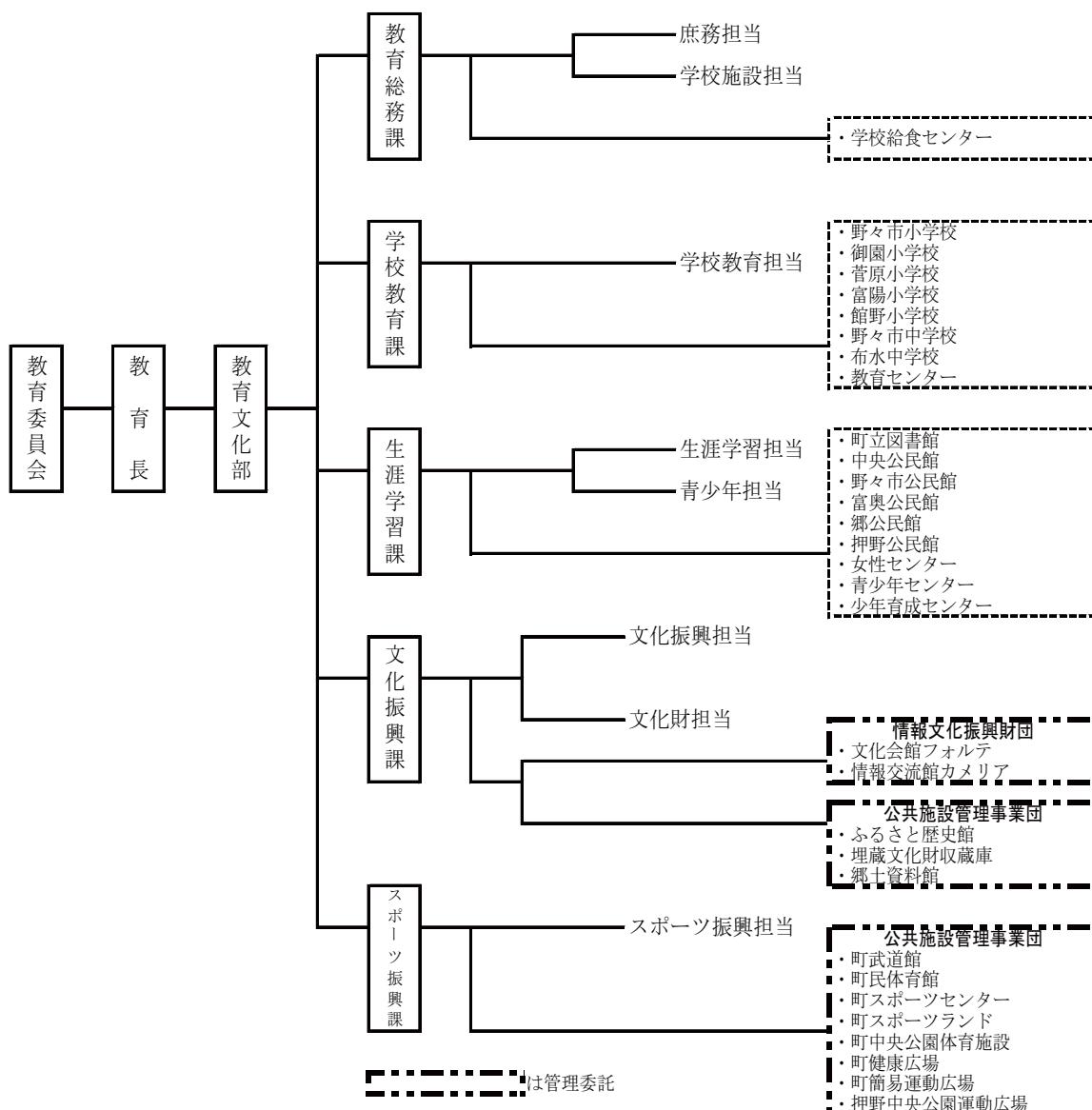
## IV. 教 育 行 政

### 1. 教育委員会会議

各年12月末日現在（単位：回、件）

年	招 集 回 数		議 案
	定 例 会	臨 時 会	
17	12	2	42
18	12	4	19
19	12	3	19
20	12	5	30
21	12	7	27
22	12	4	26

### 2. 教育委員会機構図



### **3. 教育委員会事務事業点検・評価**

教育委員会の責任体制の明確化等を柱とした、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成20年4月1日に施行され、これにより「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表すること」が義務付けされました。

これに伴い、野々市町教育委員会では平成20年度より教育委員会の活動及び所管事務について、その管理及び執行状況の点検及び評価を行い、公表を行っています。今後も委員会事業に伴う活動・事務に対する点検・評価を行い議会への提出や公表を通じて町民にわかりやすく教育委員会活動を説明していくとともに、個々の事務を検証・改善しながら、本町の教育基本方針の実現に向け、教育の充実と振興をめざします。

# V. 学校教育

## 1. 基本方針及び重点事項

### (1) 基本方針

人間として調和のとれた児童生徒の育成をめざし、地域や学校の実態及び児童生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮して、適切な教育課程を編成し、生きる力を育む教育を推進する。

児童生徒が、変化の激しいこれからの中社会を生きるために、確かな学力（知）、豊かな人間性（徳）、健康・体力（体）の調和のある教育活動を展開する。

### (2) 重点事項

#### ア. 確かな学力を育成する学校づくり

- (1) すべての児童生徒に、確かな学力を育むために「基礎的・基本的な知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学習意欲の向上」に努める。
- (2) 学校教育研究の推進や教職員研修の充実を図ることで教職員の指導力を伸ばし、児童生徒に対して確実な基礎基本の定着に努める。
- (3) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な特別支援教育の充実に努める。

#### イ. 豊かな人間性を育てる教育の推進

- (1) すべての児童生徒に、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育む学校づくりをめざす。
- (2) 人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるための基盤となる道徳性の育成のため、「道徳」の時間を要として、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実に努める。
- (3) 環境教育、人権教育、情報教育等の新しい時代に対応した教育を充実させ、国際化社会に寄与することのできる視野の広い児童生徒の育成に努める。

#### ウ. 健やかな体をもった子どもの育成

- (1) すべての児童生徒が、適切な運動の経験と健康・安全について理解し、生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力が向上することをめざす。
- (2) 運動・スポーツの資質や能力の基礎を養うため、発達段階に応じた体系的な指導に努める。
- (3) 中学校部活動の活性化や、体育的行事や食育等に対する取り組みを積極的に活用し、児童生徒が健康や体力の増進を図るよう努める。

#### エ. 地域に根ざした学校づくり

- (1) すべての子どもたちが、郷土を愛し、社会人として自立して生活できるようにするために、家庭・地域・学校の積極的な連携を深める。
- (2) 家庭や地域社会の人々との協力、学校間交流や交流教育を進めるなど開かれた学校づくりに努める。
- (3) 学校・家庭・地域社会の共通理解を深め、心の通い合う生徒指導に努める。

## 2. 町立小・中学校教育目標

### 野々市小学校

確かな学力と豊かな人間性を身につけた、たくましい子を育てる。

- (1) 健康でやりぬく子（体）
  - ・体や健康に関心を持ち、進んで運動に親しむ子
  - ・目標達成に向けて、最後まで取り組む子
- (2) 心豊かな考える子（知）
  - ・感性豊かで、思いやりのある子
  - ・進んで学び、課題を解決しようとする子
- (3) よりよい社会を築く子（徳）
  - ・集団や社会の一員として自覚ある行動がとれる子

### 御園小学校

未来を逞しく生きぬく人間の育成（知力と人間性の同時育成）

— 自ら考え、正しく判断し、実践力のある心豊かな子の育成 —

「見わたすとニコニコ笑顔、やさしい学校」

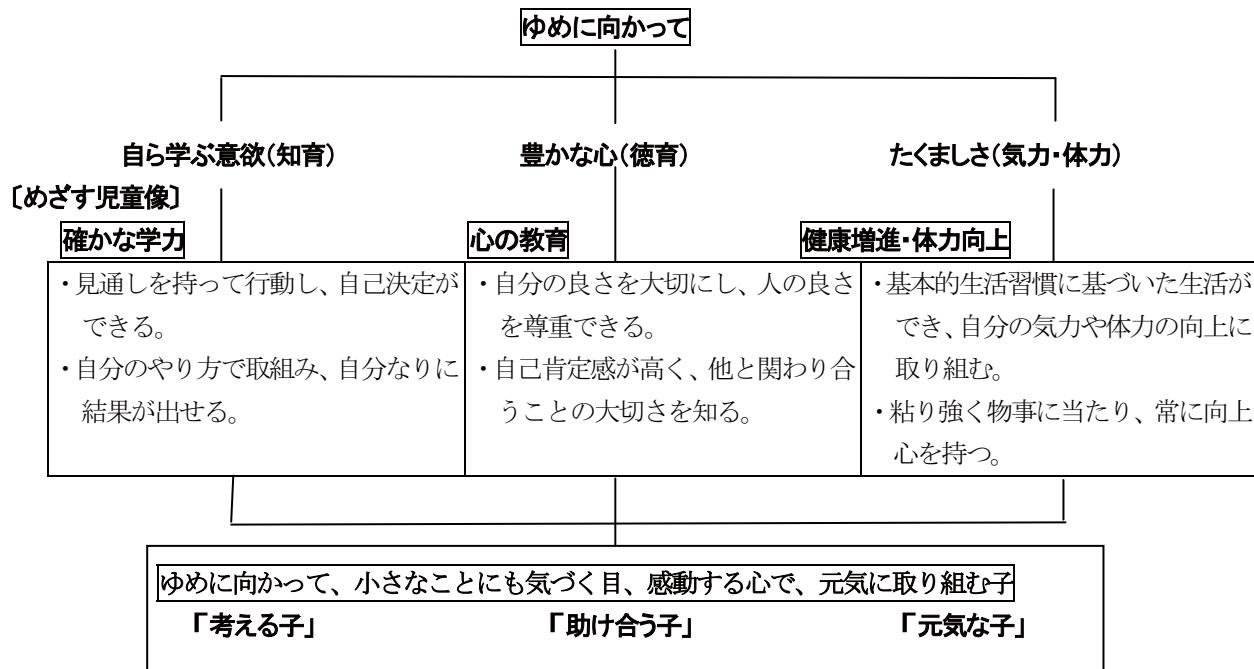
“ニコニコ ほかほか”

- (1) 人の気持ちを思いやろうとする子「やさしい子」 徳 やさしく
- (2) 進んで学ぼうとする子 「考える子」 知 かしこく
- (3) じょうぶな体をつくろうとする子「元気な子」 体 たくましく

### 菅原小学校

#### 【めざす学校像】

ゆめに向かって、豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく活動する子を育てる。



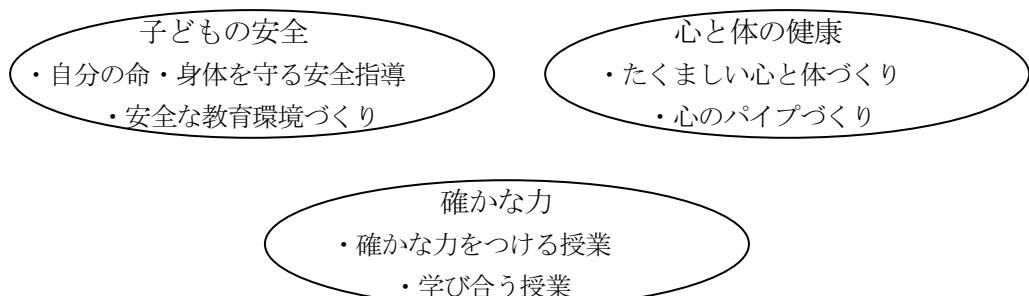
## 富陽小学校

『自ら考え、実践する子』 の育成

めざす児童像

- (1) かんがえる子
- (2) やさしい子
- (3) たくましい子

教育の重点



## 館野小学校

「心豊かでたくましく、すすんで学び合う子」の育成

～ かかわり合い、学び合い、高め合い ～

めざす児童像

- ・明るく いつも笑顔で接し、友達に思いやりがある子
- ・正しく 進んで学び、高め合い、考えて正しく行動する子
- ・たくましく 健康な体と心を持ち、最後までやりぬくたくましい子

めざす学校像

- ・子どもたちの笑顔があふれ、「大好きな私たちの学校」と思える学校
- ・子どもたちが夢を持ち、楽しく、安全で、安心して学べる学校
- ・保護者、地域と連携し、信頼される開かれた学校

めざす教職員像

- ・明るい笑顔と思いやりをいつも忘れない教師
- ・自らの指導力向上を図り、互いに高め合い協力し、教育目標の具現化に向けて組織的に取り組む教師
- ・子ども一人ひとりを大切にし、子ども、保護者と心を通い合わせ、信頼される教師

## **野々市中学校**

志を高くし、郷土を愛する生徒を育てる

### 教育方針

- (1) 教育者としての使命を自覚し、人格の陶冶と高い指導力を身につけるため日々の研鑽に努める。
- (2) 人権尊重の精神に徹し、あらゆる差別を許さない生徒を育てる。
- (3) 自問教育を実施し、自発性を引きだし、自主・自立・思いやりのある心を持つ生徒を育てる。

## **布水中学校**

高い理想を持ち、新しい未来社会に役立つ実力を身につけた生徒の育成

### 校訓

- |     |
|-----|
| 向 上 |
| 独 立 |
| 自 律 |
| 友 愛 |
| 公 聴 |
- (1) “確かな学力と体力を身につけ、未来への創造に向かって自らを高める意欲を持つ生徒” の育成
  - (2) “義務と責任をわきまえ、自主独立の気質と行動力を持つ生徒” の育成
  - (3) “正義を愛し、正しい判断力をもち、厳しく自律することのできる生徒” の育成
  - (4) “互いに敬愛し、信じ合い、切磋琢磨して美しい友情を温め得る生徒” の育成
  - (5) “ルールを守り、環境の浄化に努め、郷土を愛する豊かな情操に満ちた生徒” の育成

## 小学校の校名の由来、校旗及び校章の意味



管内小学校5校の校章、校旗は雪の結晶と麻の葉っぱを図案化したものに町章を組み合わせたものです。

雪の結晶はけがれのない素直さを表わし、麻の葉っぱは、雨に濡れればますます強くなる麻の繊維のように、何ごともくじけず最後まで頑張り抜く強い心を象徴したものです。

### 野々市小学校

昭和36年4月1日、野々市小学校と富奥小学校が統合する際、親しまれるように町名の野々市町をとり、この校名が付けられました。翌年には、郷小学校が野々市小学校と統合しました。

校旗の色は、緑です。

### 御園小学校

当校の建設地一帯は、耕地整理前的小高い丘であり、古老達はその一帯をみそのと伝え聞いてきました。その丘には大桜があり、住民の憩いの場所だったということです。また、みそのとは、過去に献穀田があったためと言われています。昔から親しまれてきた地名をとり、この校名が付けされました。

校旗の色は、紺です。

### 菅原小学校

昭和39年に、野々市町本町の一部からできた菅原町に当校を建設したため、一般に親しまれている地名をとり、この校名が付けられました。

また、菅原の地名は、平安時代に加賀權守に任せられた菅原道真公が、野々市町のこの地を通過したこととされることに由来しています。

校旗の色は、赤です。

### 富陽小学校

歴史古き富樫郷の南に位置し、四季に富む里に子どもたちが豊かな希望をもち、健やかに学び、太陽の子のように明るくたくましく育つことを願って、この校名が付けられました。

校旗の色は、黄色です。

### 館野小学校

野々市町は、中世における加賀文化の発祥地として隆盛を遂げた加賀国の守護・富樫一族の館があり、本校の運動場に隣接する土地も古くからタチナカと呼ばれ、富樫家善の館があったと伝えられています。

富樫氏の人徳と残された幾多の輝かしい文化を偲び、このゆかりある地で、児童が伸び伸びと健やかに学び育つことを願い、タチナカの「館」と野々市の「野」を合わせこの校名が付けられました。

校旗の色は、紫です。

## 中学校の校名の由来、校旗及び校章の意味

### 野々市中学校

昭和31年3月31日町村合併により、石川県石川郡野々市町立野々市中学校と石川県石川郡富奥村立富奥中学校が廃校となり、昭和31年4月1日より新たに石川県石川郡野々市町立野々市中学校が設置されました。当時、町に一校の中学校であったため、町名をそのままつけてこの校名が付けられました。

翌年には、旧石川郡押野村の御経塚・野代・押越・押野丸木が野々市町へ編入しました。



校旗はスクールカラーの茄紺色で染め抜いてあり、校章は麻の葉を図案化したものです。

野々市町は、古くは麻の栽培が盛んな所でした。麻は非常に成長が速く、強い纖維で水を含むと更に強度を増します。また、これで織った布は高貴な感じがします。

このような麻の特性から、本校の生徒が麻のように「誰からも好かれ」、「大きく、強く」成長して「上品さと誇り」を持ち、苦境に立ったとき更に「勇気ある人間」になることを町の皆が願い、その葉を図案化しました。

### 布水中学校

布は布市の「布」であり、布は白く汚れなく人々を優しく包み、また校舎の横を流れる木呂川は靈峰白山の水を受け清くさらさらとさわやかに流れ、時として急流と化すたくましさがあります。

ここに学ぶ生徒は、白妙のごとく汚れなく優しく人をいたわり、清流のごとく清らかで、また激流にも耐える心と体を培い、学び、励むことを願い、この校名が付けられました。

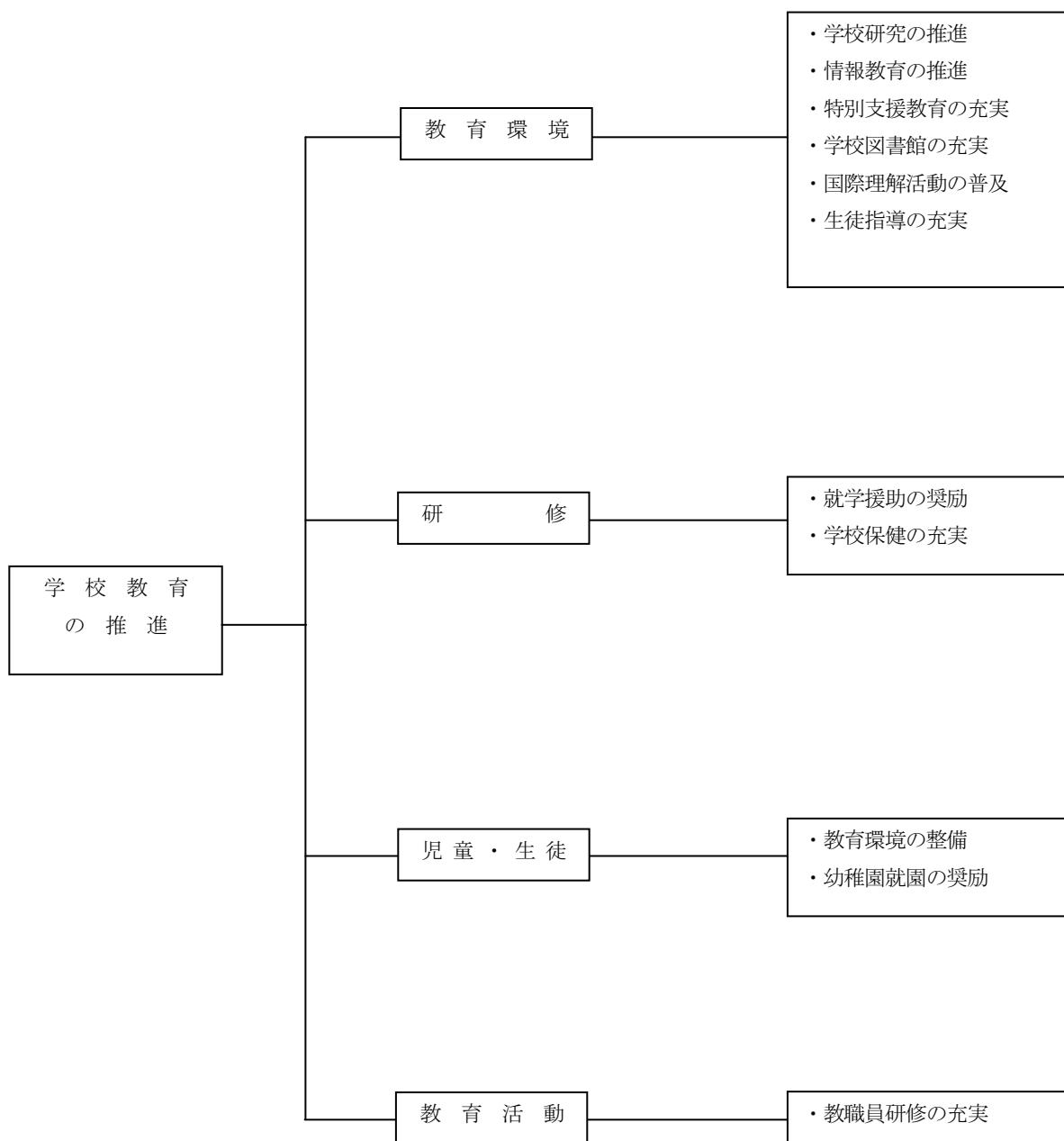
校旗はスクールカラーの水色に近い青色と白色を組み合わせました。

校章は布水中学校の水の文字を図案化したもので、左右対象で縦長の形は、向上を表現しています。

襟章の色は、青は若い力、白は誠実、赤は友愛を表現しています。



### 3. 学校教育施策体系



## (1) 教育活動

### ア. 情報教育の推進

#### ① 情報教育の環境整備

町内小中学校のすべての普通教室、特別教室にネットワークを構築し、コンピュータを設置することにより、いつでも、どこでも、コンピュータやインターネット等が活用できる環境を整備する。

平成12年度 校内LANの整備

平成18年度 中学校2校パソコン教室コンピュータ等更新

平成20年度 小学校5校パソコン教室コンピュータ等更新

小学校5校へ授業支援システムの導入と情報教育支援員の配置

小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入

平成21年度 全教職員に校務用コンピュータ配置

#### ② 教育情報ネットワークの構築

平成21年度 小中学校教職員全員にコンピュータを配置し、LANにより学校内の教育情報の共有化を図る。

### イ. 特別支援教育

#### ① なかよし教室

3歳～12歳までの幼児・児童及びその保護者を対象に、知的、情緒及び運動などに発達の遅れがあると認められる幼児等に対して総合的な指導や訓練を行う。毎週土曜日開催する。

#### ② 特別支援教育支援員

町内小中学校に11名配置。発達障害など個別に支援が必要な児童生徒を中心に支援する。

### ウ. 学校図書館の充実

#### ① 小・中学校図書館整備事業

学校図書館業務として、小中学校に図書館司書を各1名配置。また、図書購入予算の充実につとめる。

平成12年度 図書館司書配置 小学校2名 中学校1名

平成13年度 図書館司書全学校配置

平成14年度 学校長期休業期間中の司書常駐による図書館開館

平成15年度 図書館司書の配置時間の拡大、全学校図書館にエアコン設置

平成17年度 図書館司書の雇用形態の改善（臨時職員から嘱託職員へ雇用形態を変更）

平成20年度 小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入

### エ. 国際理解の推進

#### ① 国際交流事業

国際化の進む中、諸外国の人々と交流し、協力し合うことの重要性が確認される今日、次の世代を担う児童に国際的な視野をもってもらうことを目的とし、昭和60年の野々市小学校と深圳小学との友好校締結以来、交流事業を行う。

平成17年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童12名 引率他12名

平成18年度 中国深圳小学と作品交流

平成19年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童12名 引率他10名

平成20年度 中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣 児童12名 引率他10名

平成21年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童12名 引率他10名  
平成22年度 中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣 児童12名 引率他9名  
平成23年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童12名 引率他10名（予定）

② 小学校外国語活動推進事業

平成23年度より新教育課程に位置づけられている5・6年生小学校外国語活動の円滑な実施と、これまで実施されてきた3・4年生英語活動を継続して実施することで、本町児童のコミュニケーション能力の素地を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指す。

3～4年生 10時間程度の実施

5～6年生 35時間程度の実施

各校に週2回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。

③ 英語指導助手招致事業（中学校）

外国語教育、とりわけ英語の教育は、ますます国際化が進む環境の中でその重要性が高まっており英語指導助手による生きた英語にふれ、語学力の向上を図るとともに国際化時代に対応した知識、感覚の向上を図る。

英語指導助手1名（中学校2校に1ヶ月ずつ交互派遣）

才 生徒指導（いじめ・不登校等）

① 教育相談員配置事業

不登校およびその傾向にある児童生徒とその保護者に対し、教育相談や学校生活への適応指導にあたる。平成23年度 全小中学校に配置。

② スクールカウンセラー活用事業

いじめや不登校等生徒の問題行動等の対応のため、生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラーを配置する。（県より派遣）

平成23年度派遣校 御園小学校、菅原小学校、野々市中学校、布水中学校

③ 教育相談

・不登校及びその傾向を示す児童生徒に対する相談活動

（電話カウンセリング、面接指導、学校・家庭訪問、適応指導教室通室等）

・問題行動の芽をもつ児童生徒への相談活動

・教職員への相談活動（臨床心理士が対応）

・心の電話相談「ふれあいダイヤル 246-7830」

・町少年育成センターとの連携

④ 適応指導教室「ふれあい教室」

不登校や、その傾向にある児童生徒の通室指導を行い、子どもたちが心を休め、自分を見つめながら、学校へ復帰できるように支援する。

・安心して過ごせる居場所づくり

・児童生徒の自己決定の重視

・再登校に向けての連携

(2) 児童・生徒

ア. 就学援助

経済的理由により困窮していると認められる児童・生徒の保護者に対して必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図る。

就学援助費（支給者） 572名 43,810千円（平成22年度実績）

特別支援教育就学奨励費（支給者） 22名 1,523千円（平成22年度実績）

イ. 学校保健

児童生徒が健康で、健やかな生活が送れるよう各種の健康診断を実施する。

平成23年度 学校保健事業

時 期	事 業	対 象	
		小学校	中学校
4月～6月	◎ 身体計測	全 員	全 員
	◎ 聴力検査	1年～5年	1年、3年
	◎ 視力検査	全 員	全 員
	◎ 寄生虫検査	1年～3年	—
	◎ 内科	全 員	全 員
	◎ 歯科検診	全 員	全 員
	◎ 耳鼻科検診	1・4年	1 年
	◎ 眼科検診	問診により必 要な者	問診により必 要な者
	◎ 結核検診（問診・検診）	全 員	全 員
	◎ 心臓検診	1 年	1 年
6月～7月	◎ 尿検査	全 員	全 員
	◎ 血液検査（貧血・コレステロール・肝機能等）	—	2年（希望者）
	◎ 身体計測	全 員	全 員
	◎ 就学時健診	就学予定者	—
9月	◎ 視力検査	全 員	全 員
	◎ 寄生虫検査	1年～3年	—
	◎ 身体計測	全 員	全 員
10月	◎ 身体計測	全 員	全 員
	◎ 身体計測	全 員	全 員
1月	◎ 身体計測	全 員	全 員

(3) 教育環境

ア. 教育環境

① 学校の施設整備

小中学校の保守管理を計画的に進め、ゆとりある施設の充実を図る。

- ・平成12～13年度 御園小学校地震補強・大規模改造工事
- ・平成12～17年度 図書室・職員室・給食室等のエアコン設置工事
- ・平成13～14年度 野々市町学校給食センター建設工事
- ・平成14～15年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第1期）
- ・平成15年度 野々市小学校耐力度調査
- ・平成16年度 菅原小学校耐震診断
- ・平成16～17年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第2期）
- ・平成17年度 布水中学校屋上防水工事

- ・平成18年度 館野小学校増築等工事、PFI導入可能性調査
- ・平成19年度 野々市小学校施設整備事業（PFI事業 実施方針等公表）  
菅原小学校地震補強・大規模改工事実施設計  
富陽小学校音楽室エアコン設置工事
- ・平成20年度 菅原小学校地震補強等工事  
御園小学校屋内運動場耐震診断  
学校給食センター増築等工事実施設計  
野々市小学校施設整備事業（PFI事業 事業者選定・基本設計）
- ・平成21年度 野々市小学校施設整備事業（PFI事業 実施設計・建設工事）  
菅原小学校地震補強等工事  
学校給食センター増築等工事  
御園小学校屋内運動場地震補強等工事実施設計  
野々市中学校屋内運動場耐震診断、地震補強等工事実施設計
- ・平成22年度 野々市小学校施設整備事業（PFI事業 建設工事）  
御園小学校屋内運動場地震補強等工事  
野々市中学校屋内運動場地震補強等工事  
富陽小学校増築等工事実施設計  
小学校給食センターPFI導入可能性調査
- ・平成23年度 富陽小学校増築等工事  
小学校給食センター施設整備・運営事業（PFI事業 実施方針等公表）

## ② 安全管理の充実

子どもたちの安全確保のための必要な条件整備の充実を図る。

- ・来校者への対応や登下校時の安全確保
- ・学校開放時における安全対策
- ・学校、家庭、地域、関係機関と連携しながら学校の管理体制の確立

## ③ 学校備品の充実

豊かな教育環境の現実のため、備品・教材教具の充実に努める。

### イ. 幼児教育

#### ① 幼児教育の充実

幼稚園教育の振興に資するため補助を行う。

私立幼稚園就園奨励費	447名	38,122千円	(平成22年度実績)
私立幼稚園運営費補助金	町内2園	1,975千円	(平成22年度実績)

## (4) 研修

### ア. 教職員研修

今日的教育課題に対応した研修や専門的な知識・能力をより一層身につけることにより、教員の資質や指導力の向上を図る。

- ・管理職、主任（主事）等対象研修
- ・生徒指導研修
- ・学校図書館研修
- ・国際理解教育等研修
- ・情報教育研修
- ・特別支援教育研修
- ・初任者研修

## 4. 教育施設

### (1) 学校施設

(平成23年5月1日)

区分	施設名	設置年月日	敷地面積	建物構造	規模(m <sup>2</sup> )
小学校	野々市小学校	昭和36年4月	15,791m <sup>2</sup>	校舎 R 4階 体育館 R	7,869m <sup>2</sup> 1,571m <sup>2</sup>
	御園小学校	昭和53年4月	19,937m <sup>2</sup>	校舎 R 4階 体育館 R	5,101m <sup>2</sup> 1,409m <sup>2</sup>
	菅原小学校	昭和56年4月	18,004m <sup>2</sup>	校舎 R 4階 体育館 R	5,378m <sup>2</sup> 1,667m <sup>2</sup>
	富陽小学校	昭和57年4月	21,757m <sup>2</sup>	校舎 R 3階 体育館 R	5,411m <sup>2</sup> 1,614m <sup>2</sup>
	館野小学校	昭和59年4月	20,089m <sup>2</sup>	校舎 R 4階 体育館 R	5,569m <sup>2</sup> 1,489m <sup>2</sup>
中学校	野々市中学校	昭和31年4月	24,016m <sup>2</sup>	校舎 R 4階 体育館 R	7,691m <sup>2</sup> 2,130m <sup>2</sup>
	布水中学校	昭和59年4月	28,262m <sup>2</sup>	校舎 R 4階 体育館 R	6,714m <sup>2</sup> 2,193m <sup>2</sup>
野々市学校給食センター		平成15年4月	2,371m <sup>2</sup>	S 2階	1,399m <sup>2</sup>
教育センター		平成5年3月	546m <sup>2</sup>	R 2階	644m <sup>2</sup>

校舎面積に給食室を含む



野々市小学校



御園小学校



菅原小学校



富陽小学校



館野小学校



野々市中学校



布水中学校



給食センター



教育センター

(2) 通学区域

学 校 名	通 学 区 域
野々市小学校 本町5丁目3番1号 ☎ 248-0084	本町4～6丁目、若松町(22、23番)、白山町、三納、位川、太平寺1～4丁目、堀内1～5丁目、田尻町、郷町、蓮花寺町、柳町、徳用町
御園小学校 稻荷4丁目128番地 ☎ 248-3201	稻荷1～4丁目、三日市町、二日市1丁目、二日市町、長池、押越1～2丁目、野代1～3丁目、御経塚1～5丁目
菅原小学校 菅原町20番1号 ☎ 246-6066	本町2～3丁目、高橋町、扇が丘、住吉町、菅原町、矢作1～4丁目
富陽小学校 中林5丁目70番地 ☎ 246-4380	上林1～5丁目、中林1～5丁目、末松1～3丁目、藤平、藤平田1～2丁目、清金1～3丁目、下林1～4丁目、新庄1～6丁目、栗田1～6丁目
館野小学校 押野3丁目71番地 ☎ 248-0622	本町1丁目、若松町(1～21、24、25番)、横宮町、押野1～7丁目
野々市中学校 字三納300番地 ☎ 246-0115	本町5丁目、扇が丘、菅原町、住吉町、白山町、三納、藤平、位川、清金1～3丁目、末松1～3丁目、太平寺1～4丁目、栗田1～6丁目、下林1～4丁目、新庄1～6丁目、藤平田1～2丁目、中林1～5丁目、上林1～5丁目、矢作1～4丁目
布水中学校 押野2丁目100番地 ☎ 248-0039	本町1～4丁目、本町6丁目、若松町、横宮町、高橋町、稻荷1～4丁目、堀内1～5丁目、田尻町、三日市町、二日市町、二日市1丁目、徳用町、郷町、蓮花寺町、柳町、長池、押野1～7丁目、押越1～2丁目、野代1～3丁目、御経塚1～5丁目

(3) 町立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数

平成23年5月1日現在 学校基本調査 (単位:人)

区 分	学級数	児 童 生 徒 数			教 員 数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
野々市小学校	20(3)	264	252	516	8	18	26	4
御園小学校	22(2)	331	297	628	11	19	30	8
菅原小学校	16(2)	219	210	429	10	13	23	7
富陽小学校	27(2)	409	403	812	16	24	40	7
館野小学校	21(3)	243	251	494	11	18	29	7
小学校計	106(12)	1,466	1,413	2,879	56	92	148	33
野々市中学校	19(2)	318	297	615	21	21	42	3
布水中学校	21(2)	364	312	676	21	20	41	4
中学校計	40(4)	682	609	1,291	42	41	83	7
合 計	146(16)	2,148	2,022	4,170	98	133	231	40

※注 ( ) は特別支援学級再掲

#### (4) 町立小学校数・学級数・児童数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学校 数	学級数	児童数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
17	5	92(10)	1,355	1,221	2,576	51	84	135	1	44	45
18	5	95(10)	1,381	1,256	2,637	51	89	140	0	38	38
19	5	95(9)	1,402	1,294	2,696	52	89	141	0	34	34
20	5	99(12)	1,429	1,318	2,747	52	97	149	0	34	34
21	5	101(12)	1,441	1,386	2,827	59	93	162	0	33	33
22	5	98(11)	1,435	1,394	2,829	50	95	145	1	36	37
23	5	106(12)	1,466	1,413	2,879	56	92	148	1	32	33

※注1 ( ) は特別支援学級再掲 ※注2 18年度以降職員数に臨時職員は含めない。

#### (5) 特別支援学級の状況

平成23年5月1日現在（単位：人）

学校名	種別	学級数	児童生徒数	教員数
野々市小学校	知的障害	1	1	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
	肢体不自由	1	1	1
御園小学校	知的障害	1	4	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
菅原小学校	知的障害	1	1	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
富陽小学校	知的障害	1	5	1
	自閉症・情緒障害	1	4	1
館野小学校	知的障害	1	2	1
	自閉症・情緒障害	1	1	1
	肢体不自由	1	1	1
野々市中学校	知的障害	1	2	1
	自閉症・情緒障害	1	2	1
布水中学校	知的障害	1	3	1
	自閉症・情緒障害	1	1	1

#### (6) 町立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学校 数	学級 数	生徒数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
17	2	34(3)	539	549	1,088	36	33	69	1	7	8
18	2	32(3)	541	513	1,054	35	33	68	1	7	8
19	2	35(4)	596	500	1,096	38	35	73	1	7	8
20	2	34(2)	599	517	1,116	40	27	67	1	6	7
21	2	38(5)	624	537	1,161	41	35	76	1	5	6
22	2	38(5)	639	577	1,216	40	39	79	1	5	6
23	2	40(4)	682	609	1,291	42	41	83	1	6	7

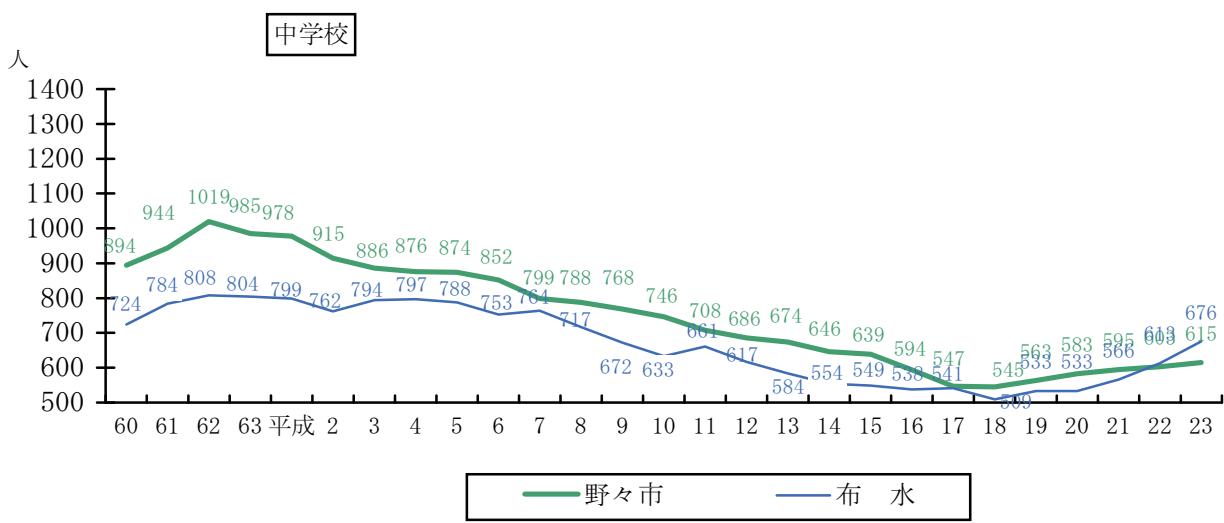
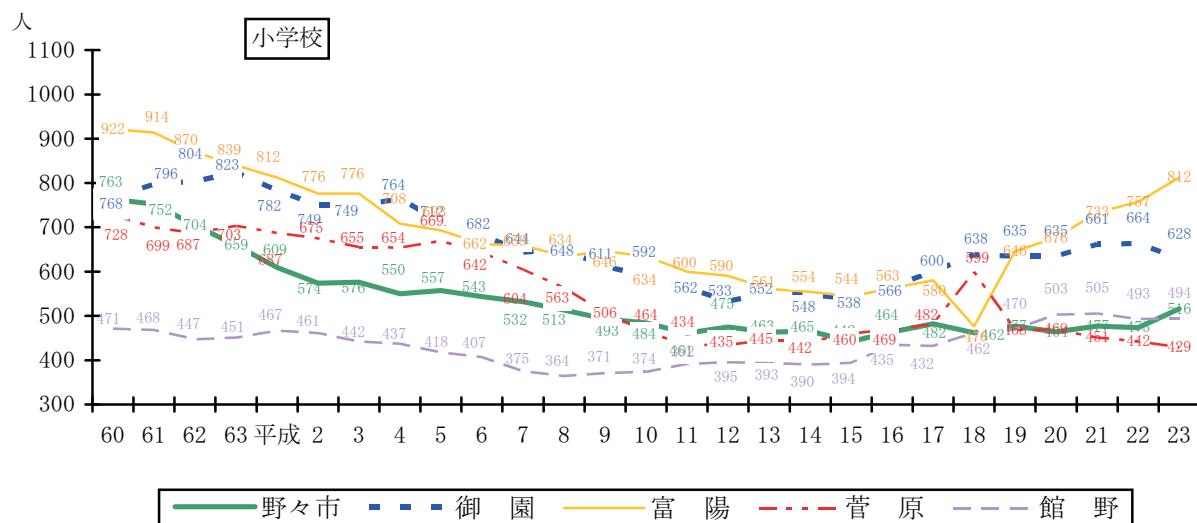
※注1 ( ) は特別支援学級再掲 ※注2 18年度以降職員数に臨時職員は含めない。

## (7) 中学校卒業生進路状況

各年5月1日現在 (単位:人)

年	卒業者計 (B+C+D +E+F) A	高等学校 等進学者 B	専修学校 (高等課程) 進学者 C	専修学校 (一般課程) 等入学者 D	就職者 E	無業者・ その他 F	左記B、C、Dのうち 就職している者 G	高等学校 等進学率 [B/A]	就職率 [(E+G)/A]
							Bのうち		
17	391	387			2	2			99.5 0.5
18	387	377		2	2	6			97.4 0.5
19	350	347			1	2			99.1 0.3
20	350	346			2	2			98.9 0.6
21	347	343				4			98.9 0
22	393	387			2	4			98.5 0.5
23	371	369			1	1			99.5 0.3

## (8) 児童・生徒の推移 (各年5月1日現在)



(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

施設名	年度	学級数	園児数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
扇が丘幼稚園	17	3	43	51	94	—	7	7	1	—	1
	18	3	42	46	88	—	8	8	1	—	1
	19	3	42	36	78	—	7	7	1	—	1
	20	3	44	42	86	—	10	10	1	—	1
	21	3	51	43	94	—	9	9	1	—	1
	22	4	48	40	88	—	9	9	1	—	1
	23	4	53	51	104	—	10	10	1	—	1
青竜第二幼稚園	17	10	81	84	165	3	13	16	1	1	2
	18	9	81	70	151	1	13	14	1	1	2
	19	10	79	85	164	2	13	15	1	1	2
	20	10	86	73	159	3	13	16	1	1	2
	21	10	95	74	169	3	12	15	1	1	2
	22	11	105	66	171	3	12	15	1	1	2
	23	11	102	75	177	3	13	16	1	1	2

資料：北陸学院扇が丘幼稚園（臨時職員を含む）・青竜第二幼稚園

(10) 石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数

※平成22年4月1日より開校

各年5月1日現在（単位：人）

年度	部門名	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
			男	女	総数	男	女	総数	
22	肢体不自由教育	14	22	12	34	51	103	154	54
	知的障害教育	53	162	61	223				
23	肢体不自由教育	12	15	10	25	49	107	156	38
	知的障害教育	49	166	68	234				

資料：石川県立明和特別支援学校

(11) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
17	24	463	491	954	37(3)	22(4)	59(7)	9
18	24	440	517	957	38(5)	22(2)	60(7)	10
19	23	410	502	912	34(6)	19(4)	53(10)	10
20	22	382	492	874	31(4)	20(7)	51(11)	10
21	20	358	435	793	28(5)	19(5)	47(10)	9
22	20	383	409	792	28(5)	18(5)	46(10)	9
23	20	398	382	780	32(4)	17(5)	49(9)	8

資料：石川県立野々市明倫高等学校

※注（）内は兼務教員等で、外数

(12) 石川県公立大学法人石川県立大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
19	199	199	398	59	7	66	31
20	260	259	519	59	7	66	30
21	270	294	564	57	8	65	28
22	281	332	613	56	10	66	28
23	296	333	629	57	10	67	21

資料：石川県公立大学法人石川県立大学

※注 平成21年度以降は学生数に院生数を含む。

(13) 石川県公立大学法人石川県立大学学科別学生数

学部

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	学 部 名	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	総 数
19	生物資源 環境 学部	総 数	136	133	129	—	398
		生産科学科	47	42	40	—	129
		環境科学科	47	46	43	—	136
		食品科学科	42	45	46	—	133
20	生物資源 環境 学部	総 数	131	133	133	122	519
		生産科学科	43	44	43	37	167
		環境科学科	43	47	46	41	177
		食品科学科	45	42	44	44	175
21	生物資源 環境 学部	総 数	132	131	142	126	531
		生産科学科	44	43	49	39	175
		環境科学科	44	43	47	45	179
		食品科学科	44	45	46	42	177
22	生物資源 環境 学部	総 数	139	132	144	131	546
		生産科学科	45	44	45	43	177
		環境科学科	48	44	51	41	184
		食品科学科	46	44	48	47	185
23	生物資源 環境 学部	総 数	136	139	138	140	553
		生産科学科	45	45	46	42	178
		環境科学科	43	48	45	50	186
		食品科学科	48	46	47	48	189

資料：石川県公立大学法人石川県立大学

## 大学院

5月1日現在(単位:人)

年度	研究科名	学科名	1年	2年	3年	総数
21	生物資源環境学 研究科	総数	33	—	—	33
		博士前期課程	25	—		25
		生産科学専攻	3	—		3
		環境科学専攻	6	—		6
		食品科学専攻	9	—		9
		応用生命科学専攻	7	—		7
		博士後期課程	8	—	—	8
		自然人間共生科学専攻	5	—	—	5
		生物機能開発科学専攻	3	—	—	3
22	生物資源環境学 研究科	総数	34	33	—	67
		博士前期課程	34	25		59
		生産科学専攻	8	3		11
		環境科学専攻	8	6		14
		食品科学専攻	8	9		17
		応用生命科学専攻	10	7		17
		博士後期課程	—	8	—	8
		自然人間共生科学専攻	—	5	—	5
		生物機能開発科学専攻	—	3	—	3
23	生物資源環境学 研究科	総数	32	36	8	76
		博士前期課程	27	36	—	63
		生産科学専攻	5	7	—	12
		環境科学専攻	5	8	—	13
		食品科学専攻	13	9	—	22
		応用生命科学専攻	4	12	—	16
		博士後期課程	5	—	8	13
		自然人間共生科学専攻	1	—	5	6
		生物機能開発科学専攻	4	—	3	7

資料：石川県公立大学法人石川県立大学

## (14) 金沢工業高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在(単位:人)

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
17	15	594	42	636	45	6	51	6
18	15	596	43	639	45	5	50	9
19	15	557	43	600	50	6	56	12
20	15	526	42	568	49	6	55	12
21	15	475	40	515	49	6	55	12
22	15	476	41	517	50	7	57	12
23	15	493	49	542	48	7	55	12

資料：金沢工業高等専門学校

(15) 金沢工業高等専門学校学科別生徒数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	総 数
20	総 数	118	109	114	107	120	568
	電 気 工 学 科	—	—	—	—	—	—
	機 械 工 学 科	44	36	46	46	47	219
	電 気 情 報 工 学 科	38	39	33	33	39	182
	国際コミュニケーション情報工学科	36	34	35	28	34	167
21	総 数	85	110	104	113	103	515
	電 气 電 子 工 学 科	29	—	—	—	—	29
	機 械 工 学 科	34	43	36	47	43	203
	電 气 情 報 工 学 科	—	33	36	32	32	133
	グローバル情報工学科	22	—	—	—	—	22
22	国際コミュニケーション情報工学科	—	34	22	34	28	118
	総 数	121	83	102	105	106	517
	電 气 電 子 工 学 科	40	27	—	—	—	67
	機 械 工 学 科	42	33	40	38	42	195
	電 气 情 報 工 学 科	—	1	31	35	31	98
23	グローバル情報工学科	38	20	—	—	—	58
	国際コミュニケーション情報工学科	1	2	31	32	33	99
	総 数	144	117	85	95	101	542
	電 气 電 子 工 学 科	47	42	25	—	—	114
	機 械 工 学 科	49	39	35	37	37	197
23	電 气 情 報 工 学 科	—	—	4	28	31	63
	グローバル情報工学科	48	36	19	—	—	103
	国際コミュニケーション情報工学科	—	—	2	30	33	65

資料：金沢工業高等専門学校

(16) 金沢工业大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
17	6,800	488	7,288	293	32	325	179
18	6,798	499	7,297	296	32	328	175
19	6,681	532	7,213	308	32	340	171
20	6,813	551	7,364	309	31	340	172
21	6,724	549	7,273	310	30	340	176
22	6,752	558	7,310	302	28	330	177
23	6,617	582	7,199	306	30	336	186

資料：金沢工业大学

※注 学生数には院生数を含む。

(17) 金沢工業大学学科別学生数

5月1日現在（単位：人）

年度	学部・学科名等		1年次	2年次	3年次	4年次	その他	計
23	工学部	機 械 工 学 科	245	292	268	236	—	1,041
		ロボティクス学科	121	154	115	122	—	512
		航空システム工学科	63	63	66	77	—	269
		電気電子工学科	195	241	167	170	—	773
		情報通信工学科	78	76	52	57	—	263
		情報工学科	—	1	9	38	—	48
		建築学科	—	—	—	1	—	1
	環境・建築学部	環境土木工学科	58	48	50	53	—	209
		建築学科	193	181	138	162	—	674
		建築都市デザイン学科	56	47	39	58	—	200
		バイオ化学科	—	—	—	7	—	7
		環境化学科	—	—	2	4	—	6
	情報学部	メディア情報学科	145	165	136	108	—	554
		心理情報学科	67	61	41	35	—	204
		情報経営学科	63	29	36	32	—	160
		情報工学科	242	270	160	167	—	839
	バイオ・化学部	応用バイオ学科	98	123	95	94	—	410
		応用化学科	76	108	86	62	—	332
	情報フロンティア学部	メディア情報学科	—	—	2	10	—	12
		生命情報学科	—	1	1	17	—	19
		心理情報学科	—	—	3	3	—	6
		情報マネジメント学科	—	—	2	9	—	11
計			1,700	1,860	1,468	1,522	0	6,550
修士課程	機械工学専攻	70	67	—	—	—	137	
	環境土木工学専攻	8	13	—	—	—	21	
	情報工学専攻	24	36	—	—	—	60	
	電気電子工学専攻	47	55	—	—	—	102	
	システム設計工学専攻	21	26	—	—	—	47	
	バイオ・化学専攻	24	33	—	—	—	57	
	建築学専攻	33	44	—	—	—	77	
	高信頼ものづくり専攻	—	3	—	—	—	3	
	ビジネスアーキテクト専攻	26	8	—	—	—	34	
	知的創造システム専攻	48	—	—	—	—	48	
	臨床心理学専攻	3	7	—	—	—	10	
計		304	292	0	0	0	596	
博士課程	機械工学専攻	1	—	1	—	—	2	
	環境土木工学専攻	1	—	2	—	—	3	
	情報工学専攻	—	1	—	—	—	1	
	電気電子工学専攻	—	1	—	—	—	1	
	システム設計工学専攻	2	—	3	—	—	5	
	バイオ・化学専攻	1	—	2	—	—	3	
	建築学専攻	—	—	—	—	—	0	
	高信頼ものづくり専攻	—	2	1	—	—	3	
	材料設計工学専攻	—	—	1	—	—	1	
計		5	4	10	0	0	19	
専攻科		8	—	—	—	—	8	
計		2,017	2,156	1,478	1,522	0	7,173	
研究生（学部）		—	—	—	—	2	2	
研究生（大学院）		—	—	—	—	2	2	
科目等履修生（学部）		—	—	—	—	1	1	
科目等履修生（大学院）		—	—	—	—	21	21	
計		2,017	2,156	1,478	1,522	26	7,199	

## VI. 生涯学習

### 1. 基本方針及び重点事項

#### (1) 基本方針

「まちづくりは人づくりから」を基本理念に、生涯にわたる学習活動を振興するための環境づくりに努め、併せて、青少年の豊かな心を育み、人権を尊重した地域社会の形成と家庭教育力の向上をめざす。

#### (2) 重点事項

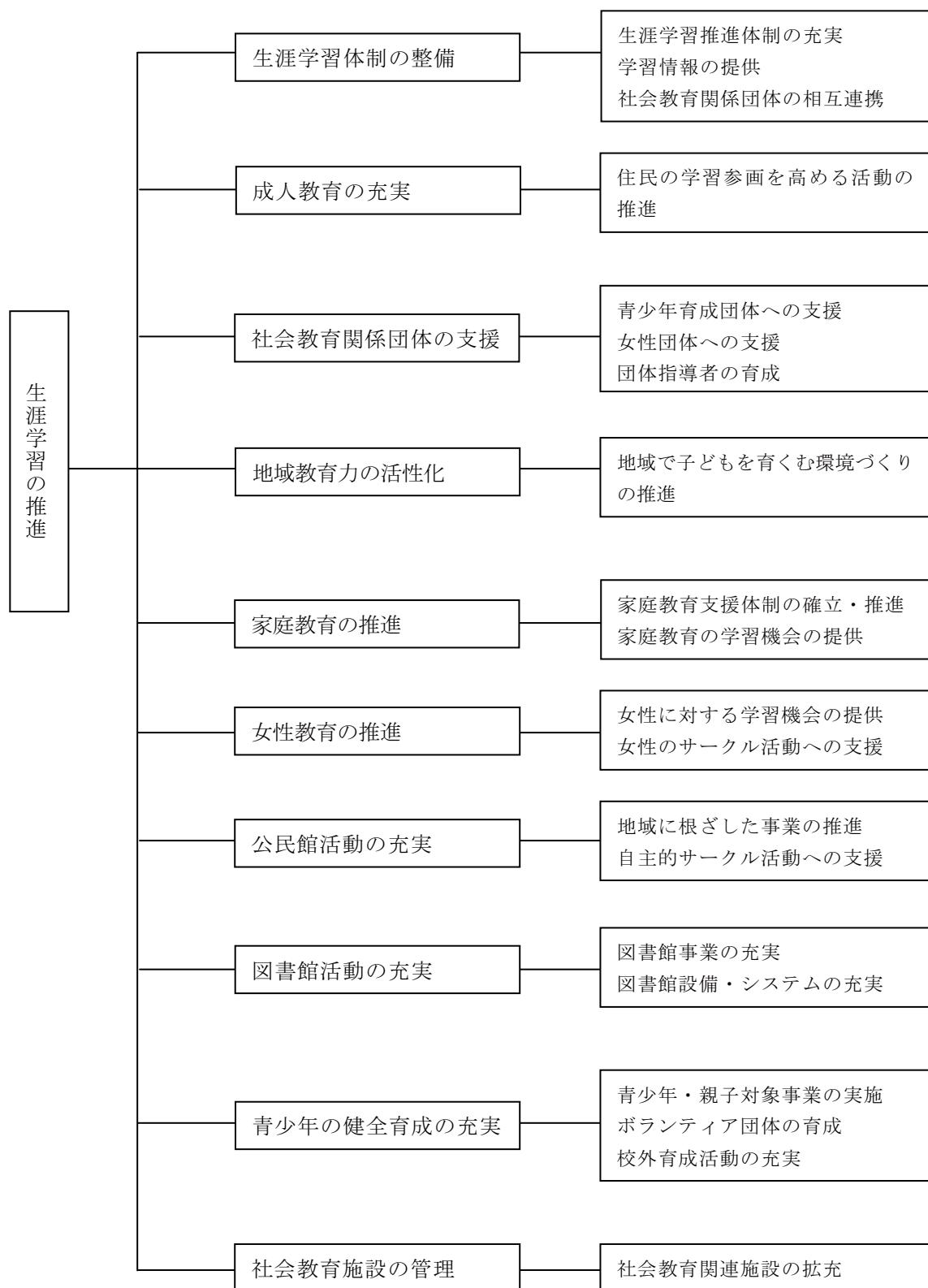
##### ア. ふれあいと活力に満ちた生涯学習社会の構築を図る。

- ① 教育ユニバーサルプラン中間答申を踏まえた、生涯学習推進体制の充実に努める。
- ② 町民の生涯学習による自己啓発活動を支援し、一人ひとりが輝く共生と協働の地域社会づくりに努める。
- ③ 地域の歴史文化や社会的課題を学ぶ場と町民の実践の場の充実を図り、地域文化の発信とふるさと意識の向上に努める。
- ④ 大学と連携した事業を充実し、町民参画による生涯学習まちづくり活動の発展に努める。
- ⑤ 生涯学習社会の構築を図るために、町民の学習成果を生かす生涯学習ボランティアの育成と生涯学習情報の提供に努める。
- ⑥ 施設環境の整備と施設職員の資質の向上を図り、地域コミュニティ活動と生涯学習活動の核となる施設運営に努める。
- ⑦ 町民の教育・文化の向上を図るために、図書館活動の充実に努める。

##### イ. 子どもたちの豊かな心を育む地域・家庭教育力の活性化を図る。

- ① 情報化社会に対応した健全な社会秩序の形成をめざし、地域団体の連携を強め、青少年の健全育成活動と社会環境浄化活動の推進に努める。
- ② 家庭教育力の向上を図るために、支援体制の確立と啓発活動に努める。
- ③ 地域社会と学校の協力体制を確立し、放課後の子どもの安全を守る活動や居場所づくりの充実に努める。
- ④ 子どもを地域全体で育む気運を高め、伝統芸能継承活動や学校外活動の充実に努める。
- ⑤ 地域社会の教育力を高めるため、育成団体の指導と支援に努める。

## 2. 生涯学習施策体系



## (1) 生涯学習体制の整備

### ア. 推進体制の確立

- ① 生涯学習推進体制の充実
  - ・教育ユニバーサルプランの実現に向けた体制づくり
  - ・社会教育委員会議の開催
- ② 各種社会教育団体への加入と連携
  - ・県…県社会教育委員連絡協議会、金沢大学社会教育研究振興会、県少年補導センター連絡協議会、県視聴覚教育協議会、県公民館連合会
- ③ 学習情報の提供
  - ・「生涯学習情報」の町広報紙掲載（年3回、7・10・1月）
  - ・「公民館サークル情報」の発行（年1回、5月）
  - ・町広報紙、町ホームページ、町地域ポータルサイト、FMエヌワン等の活用

### イ. 施設の充実

- ① 社会教育関連施設の整備
  - ・施設の効率的な修繕
  - ・新図書館建設に向けた調査研究
- ② 社会教育関連施設の運用の工夫
  - ・公共施設予約案内システムの運用

## (2) 活動の推進

### ア. 成人教育の充実

#### ① ののいち町民大学校事業の実施

##### ・コミュニティ・カレッジの開講

目的	内容	企画委員会	場所
大学協力講師等による町民向け講座を開設し、町民の自主的な運営によって、学習機会の拡大とまちづくり事業への参画意識の高まりを図る。	金沢工業大学、石川県立大学、放送大学石川学習センター、金沢大学、また、郷土史家等の協力により、前・後期 12 講座程度を開講。交流会を 3 回程度実施。	公募者等 11 名程度	中央公民館他

##### ・インターネット町民塾の開講 ((財)情報文化振興財団へ委託)

目的	内容	運営委員会	ボランティア
インターネットを用いた野々市町民のための生涯学習の場として、個々の教養、IT スキルの向上及び住民間のコミュニケーションの促進を図る。	インターネットを活用した在宅学習とネット講座の開設、一部の講座ではスクーリング形式でを開講。 ・ 学習者としての参画 ・ 講師としての参画 ・ ボランティアとしての参画	野々市町及び金沢工業大学より各 3 名	カメリアパルが教材製作支援 隨時募集

##### ・マイ・タウン塾の開講

目的	内容	実施回数等	場所
生涯学習への参加意欲が高まる中、町内会と連携をとりながら学習機会の提供。	テーマや講師を提案し、希望町内会の会館などで出前講座を実施。	1 町内会につき 1 回	各町内会集会所等

##### ・ののいち町民大学校公開講座

本事業を広く町民に公開し、学習機会の充実と学習意欲の喚起を図る。

事業	内容	実施回数等	場所
放送大学石川学習センタ一開放講座	放送大学の人的資源を地域に開放する一般向け教養講座。	年 2 回程度	文化会館他

#### ② 成人式の開催

目的	日時	内容	場所
新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを願う。	平成 24 年 1 月 8 日(日) 午後 2 時から	式典等	文化会館



コミュニティ・カレッジ



成人式

## イ. 青少年教育の充実

—「青少年対策機構図」は別途資料参照—

### ① 青少年対象事業の実施

子どもたちが遊びのおもしろさや手づくりの温かさ、自然の雄大さを体験し、年齢や学校を越えた仲間づくりを進める。

事 業 名	対 象	募集定員	内 容	場 所
ま な び の 教 室 (原則毎月第2土曜日)	小学生	85人	料理・水彩画・絵本・ものづくりの4教室	地区公民館
子 ど も 自 然 体 験 事 業 ～とびだせ！アウトドアKIDS～	小学3年～小学6年生	40人	自然教室(年3回、日帰り)	白山麓
学びのサポーターとつくる夏休み体験	小学生	155人	手作り教室、体験教室など	地区公民館など
立 志 式	中学2年生	471人	11月9日開催、講演会の開催	文化会館大ホール
青少年海外派遣事業	中・高校生	未定	石川少年の翼への参加補助(派遣は隔年実施)	大韓民国、中国、ロシア

### ② 青少年団体の育成

学校外活動の充実を図るため、定期的に活動する団体の育成を推進する。

- ・中央公民館事業 …フォルテ児童合唱団
- ・ボランティア団体…ボランティア探検隊「飛鳥」、ジュニアリーダー会「響」

### ③ 校外育成活動の充実

町少年育成センターと“ののいちっ子を育てる”町民会議が中心となって、官民一体となった育成活動を展開する。

組 織	主 な 事 業	
少年育成センター	運営協議会の開催(年3回) 委員14人 育成指導員70人	街頭巡視活動、非行防止S&Sネット懇話会、万引き対策、コンビニ協議会、非行相談活動、インターネット巡視活動など
“ののいちっ子を育てる”町民会議	常任委員会(年4回)、全体会議(年1回)の開催 構成55団体、役員・常任委員28人	愛と和のひと声運動、町ぐるみ美化清掃、県下一斉グッドマナーキャンペーン、社会環境浄化活動、携帯電話対策事業、啓発活動など

### ④ 体験活動情報提供事業の推進

- ・情報交流館こどもセンターを拠点に、体験情報の収集と発信



子ども自然体験



立志式



町ぐるみ美化清掃

## ウ. 地域教育力の活性化

### ① 放課後・週末における子どもの居場所作りの推進

放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの体験活動や、地域住民との交流活動を実施する。

事業名	校区
野々市小学校放課後ふれ愛ルーム	野々市小学校
菅原小学校放課後子ども教室	菅原小学校
館野小学校放課後子ども教室	館野小学校
御園小学校放課後子ども教室	御園小学校
富陽小学校放課後子ども教室	富陽小学校
こどもセンター放課後子ども教室	全町

### ② 生涯学習ボランティアの育成

事業名	目的	内容
学びのサポーター登録・活用事業	子どもたちの体験活動を充実させるため「学びのサポーター」を募集・登録し、学社連携を強化しながらその活用を図る。	募集・登録・紹介事業 公民館活用事業 学校活用事業



放課後子ども教室



学びのサポーターとつくる夏休み体験

## エ. 家庭教育の推進

- ① 家庭教育支援体制の確立
  - ・家庭教育推進協議会の開催
  - ・家庭教育サポーターの設置
  - 地域において保護者に対する支援活動
- ② 学習体制の整備

幼児から中学生までの保護者への学習機会を積極的に提供する。

事 業 名	対 象	参加予定人数	回数	内 容
家庭教育学級 (全小中学校 PTA)	小・中学生 の保護者	1回あたり 40人程度	1校当たり 2~3回	町PTA連合会に委託 家庭教育の向上をめざし、保護者への学習機会の拡充を図る。
幼児家庭教育講座 (全保育園)	園児の保護者	1回あたり 40人程度	1園当たり 各1回	幼児期の家庭教育の重要性を学ぶ。
就学時健診子育て講座 (全小学校)	就学前児童 の保護者	1回あたり 100人程度	5回 <small>(1校当たり1回)</small>	就学時健診の機会を利用して、全ての保護者へ学習機会を提供する。
思春期子育て講座 (全中学校)	中学校入学 前の生徒の 保護者	1回あたり 200人前後	2回 <small>(1校当たり1回)</small>	中学校入学説明会の場を利用して、全ての保護者へ学習機会を提供する。



就学時健診子育て講座



幼児家庭教育講座

## オ. 施設活動の充実

### ① 中央公民館事業（活動）の充実

- ・ののいちマナビフェスタ 2011 の開催

目的	内容	期間	会場
生涯学習と地域文化の発展を願い、広く学習と活動の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、文化の香り高いまちづくりを目指す。	作品展示、舞台発表、活動発表、講演会、模擬店、イベント等	10月29日 (土)から 11月13日 (日)	中央公民館 カメリア フォルテ 郷土資料館

- ・高齢者教育の推進

事業名	対象	参加者数	内容
野々市寿大学校	60歳以上	42人	5月から月2回程度。 教養・健康づくり・歴史などの講座を実施
野々市寿大学院	寿大学校の卒業生	137人	コーラス・ちぎり絵・俳句・園芸・囲碁・書の6コースを実施 院生による自主活動

- ・自主サークル活動の充実

寿大学校同窓会活動への支援…心寿会

### ② 地区公民館活動の充実

地域住民が心身ともにさわやかで明るい活力に満ちた生活が築けるように、住民相互の親睦を深めながら、個々の教養の向上、健康の増進に寄与できる公民館活動を行う。

#### ・ 主な地区公民館事業

##### ◎ 野々市公民館

生涯学習のテーマ：地域と連帶

期日	事業名
6月	視察研修会
6・7月	地域デビュー応援講座①～④
7月	グラウンドゴルフ大会
10月	本町地区運動会
10月	すぐに役立つマナー講座
12月	ニュースポーツ大会
1月	子育て中ママのための料理教室
2月	文化教養講座

##### ◎ 富奥公民館

生涯学習のテーマ：文化と教養

期日	事業名
5月	グラウンドゴルフ大会
6月	視察研修会
7月	虫送り大会
10月	富奥地区運動会
11月	ボウリング大会
11月	ののいち学講座
12月	キンボール大会
1月	健康サロン



料理教室



キンボール大会

◎ 郷 公民館

生涯学習のテーマ：自然と環境

期 日	事 業 名
5月	高齢者生きがい教室①
6月	花いっぱい運動
7月	グラウンドゴルフ大会
9月	健康講座
9月	ののいち学講座
10月	郷地区運動会
10月	高齢者生きがい教室②
11月	日帰り研修会
11月	室内軽スポーツ
2月	時局講演会
2月	ボウリング大会

◎ 押野公民館

生涯学習のテーマ：健康と安全

期 日	事 業 名
5～7月	リラックス講座
7月	グラウンドゴルフ大会
8月	公民館作品展
10月	押野地区運動会
11月	クリスマス講習会
12月	室内ニュースポーツ大会
12～1月	新春講習会
1月	わら工作の会
2月	新春麻雀大会
2月	いきいきゼミナール
3月	ボウリング大会
2月	ののいち学講座



日帰り研修



リラックス講座

③ 図書館活動の充実

・事業内容

事 業 項 目	事 業 概 要
資料の収集・提供	電算システムのよりよい活用を図り、資料を選択、収集、整理保存し、またインターネットによる蔵書検索サービスを行う。
積極的な情報提供	図書館の資料を活用し、的確なレファレンス・サービスを行う。また利用者及び、町内外各位への積極的な情報提供を行う。
サービスの地域格差の是正	移動図書館車の運行と団体貸出、配本所を充実する。
郷土理解の情報提供	町民の郷土理解のため情報の収集と提供につとめる。講演を開催し、町内外の歴史や文学について学習する機会を提供する。
児童へのサービス	乳児も含め、児童にすぐれた出版物をふれさせ、読書のすばらしさを知るきっかけを与える。
各種団体の育成	読書の生活化・習慣化に寄与するため、読書普及として、読書会活動の推進、グループの育成を図る。 0歳児健診で、メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝えるブックスタートボランティアの活用、育成を図る。
学校図書館の支援	学校図書館司書との連携を図り、活動の支援につとめる。

・主な活動計画

事業名	対象	実践活動の内容	実施場所
おはなし会 (月2回)	幼児 小学生	お話や絵本の読み聞かせ、紙芝居など	町立図書館
移動図書館車	町民	約2,000冊の図書を積載、町内20ヶ所に月1回運行し貸出を行う	
教養講座 (全2回)	一般	テーマ「加賀の伝統文化を探る・IV」の講演	中央公民館
ブックスタート (月2回)	乳児 保護者	メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝える。	保健センター
0、1、2歳児のためのおはなし会 (年2回)		乳幼児向けの読み聞かせ、手遊び、わらべうた等。乳幼児を連れた保護者が気軽に図書館を利用する機会をつくる。	町立図書館
チャリティー古本市 (年1回)	一般	蔵書として活用しない寄贈図書や古い雑誌等を譲渡する。	町立図書館



おはなし会



ブックスタート

④ 女性センター事業の充実

女性の日常生活に必要な援助を与え、その福祉の増進を図るための事業を推進する。

・主な事業

期 日	事 業 名	期 日	事 業 名
5月	太極拳	9月	低カロリー食（きのこ料理）
6月	みんなで楽しく歌おう！	10月	ミニ盆栽作り
7月	家庭料理（南仏地方）	11月	水引（お正月飾り）作り
8月	籠作り・和布を楽しむ	12月	生花（クリスマス用）・大根寿司
8～9月	消費者講座	2月	エコタワシ作り

⑤ サークル活動の推進

生涯学習施設において自主学習サークル、グループの登録要綱等を整備し、町民の自発的な学習と仲間づくりを支援する。

・サークル、グループ登録状況（平成23年5月現在）

施設名	登録数
野々市公民館	33団体
富奥公民館	11団体
郷公民館	14団体

施設名	登録数
押野公民館	13団体
女性センター	25団体
青少年センター	2団体

計98団体

## カ. 社会教育団体の支援

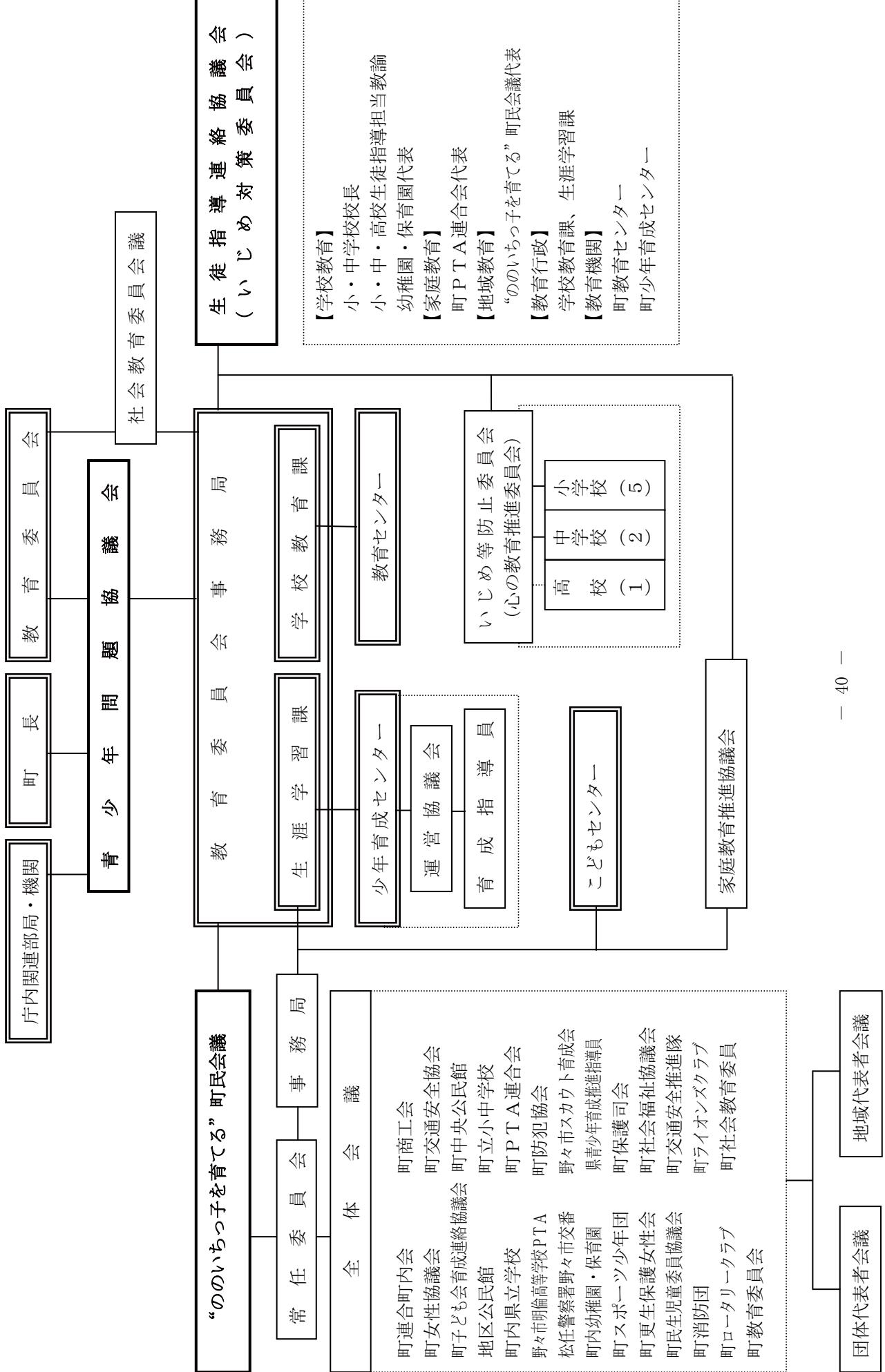
① 補助団体一覧

部門	団体名	代表者	設立年	構成員数（人）	下部団体
育成団体	子ども会育成連絡協議会	内村 昭夫	昭和42年	3,500	57
	PTA連合会	多賀 陽一	昭和38年	4,170	7
	野々市スカウト育成会	栗 貴章	昭和44年	108	5
女性団体	女性協議会	藤多 典子	昭和52年	700	
	生活学校	進村 五月	昭和46年	18	
	各種女性団体連絡協議会	藤村 恵子	平成14年	294	5
青年団体	青年ボランティア団体 RISE	八島 潤一	平成14年	11	
公民館団体	公民館連合会	魚野 孝次郎	平成17年	11	

② 青年団体指導者の育成

・青年ボランティアリーダー県外研修への補助

## 青少年対策機構図



### 3. 生涯学習施設

#### (1) 施設の概要

名 称	位 置	電話番号	延床面積(m <sup>2</sup> )	施 設 内 容	建設年月
中央公民館	本町2丁目1-20	248-0521	2,763.19	ホール・舞台、会議室(6)、研修室(2)、学習室(2)、調理実習室、視聴覚室、和室(2)	S52. 7
野々市公民館	中央公民館に併設				
富奥公民館	中林5丁目3	248-0829	853.62	会議室(2)、和室(2)、集会室、研修室、調理実習室	S51.12
郷公民館	字田尻町94	248-0250	820.40	集会室、談話室、学習室(2)、和室(2)、調理実習室	H 2. 3
押野公民館	押野3丁目70	248-2839	709.58	集会室(2)、学習室、研修室、調理実習室、和室(2)	S61. 3
青少年センター	住吉町17-10	246-0250	315.07	会議室、調理実習室、研修室(2)	S54. 3
女性センター	稲荷4丁目155	246-0810	629.39	相談室、軽運動室、講習室(2)、調理実習室	S58. 1
町立図書館	本町2丁目14-6	248-8099	788.81	閲覧室、学校図書館支援室(ボランティア活動室)、学習室	S42. 3

#### (2) 施設利用の仕方

名 称	開館時間	休 館 日	使用申し込み方法等
中央公民館 野々市公民館 富奥公民館 郷公民館 押野公民館	午前9時～ 午後10時	月曜日、祝日、年末年始	① 使用する日の3ヶ月前から7日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、各公民館へ申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前9時から午後5時まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
青少年センター	午前9時～ 午後10時	月曜日、祝日、年末年始	① 使用する7日前迄に使用許可申請書により中央公民館へ申し込む。(休館日を除く) ② 使用料は、許可を受け次第前納する。
女性センター	午前9時～ 午後10時	月曜日、祝日、年末年始	① 使用する3ヶ月前から7日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前9時から午後5時まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
町立図書館	火～金曜日 午前10時～ 午後7時 土・日曜日 午前10時～ 午後5時	月曜日、祝日、年末年始	① 貸出は一人5冊まで ② 期間は2週間

(3) 施設利用状況（平成 22 年度）

名称	利用件数(件)	利用者数(人)
中央公民館(野々市公民館)	2, 856	48, 593
富奥公民館	840	15, 854
郷公民館	868	10, 159
押野公民館	860	12, 153
青少年センター	188	3, 468
女性センター	1, 546	13, 202

町立図書館 (移動図書館、配 本書の利用含 む)	登録人数 (人)		貸出利用者数 (人)		貸出冊数 (冊)		蔵書冊数 (冊) 79, 965	
	16, 472		28, 084		92, 179			
	中学生以下	2, 311	中学生以下	5, 049	中学生以下	19, 150		
	一般	14, 161	一般	23, 035	一般	73, 029		

(4) 町立図書館分類別蔵書構成（平成 23 年 3 月末現在）

		平成 22 年度購入冊数(冊)	蔵書数(冊)	構成比(%)
総冊数		2, 985	79, 965	100. 0
開架		—	41, 092	51. 4
閉架		—	17, 031	21. 3
館外		—	21, 842	27. 3
内訳	0 総記	51	1, 611	2. 0
	1 哲学	59	1, 828	2. 3
	2 歴史	98	4, 647	5. 8
	3 社会科学	220	5, 083	6. 4
	4 自然科学	134	2, 443	3. 1
	5 技術	210	3, 406	4. 3
	6 産業	80	1, 285	1. 6
	7 芸術	119	3, 403	4. 3
	8 言語	24	678	0. 8
	9 文学	596	24, 218	30. 3
	児童図書	1, 349	25, 955	32. 5
	郷土資料	45	5, 408	6. 8

開架：本館閲覧室（2階含む）所蔵の分

閉架：本館書庫、事務室、学校図書館支援室所蔵の分

館外：移動図書館、配本所、館外の書庫の分

## VII. 文化

### 1. 基本方針及び重点目標と努力事項

#### (1) 基本方針

文化活動を通じて、町民一人ひとりの創造性と個性を育み文化の享受を図るとともに、地域の歴史・文化への親しみを深める環境整備に努めることによって、郷土を愛する心豊かな人間性の育成をめざす。

#### (2) 重点事項

##### ア. 歴史的資源を活用した魅力あるまちづくりの推進

- ① 国指定史跡である御経塚遺跡や末松廃寺跡など歴史的資源の活用を図る。
- ② 特別展や歴史体験等をとおして郷土愛を醸成する。
- ③ 自主的な文化財ボランティアの育成を図る。
- ④ 重要文化財に指定された御経塚遺跡出土品について展示公開の充実を図る。

##### イ. 文化財の保護・活用

- ① 各種文化財の調査、収集、研究を推進する。
- ② ふるさと歴史館や史跡公園など関係施設の整備・充実を図る。
- ③ 保存する資料を電子データ化し、文化財データベースとして活用を図る。
- ④ 郷土芸能の伝承活動団体に対する育成と支援に務める。

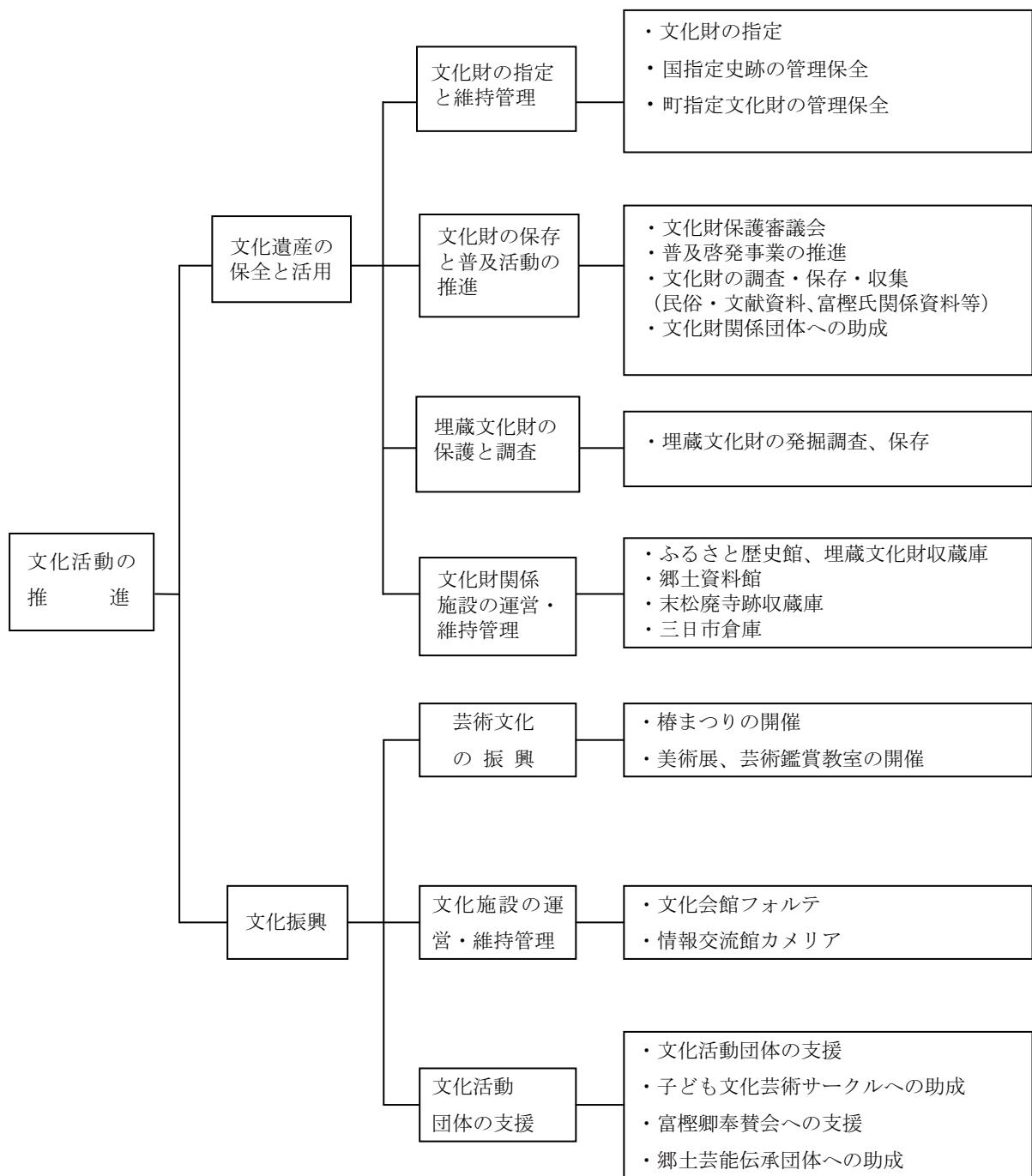
##### ウ. 文化に親しむ芸術文化情報の提供

- ① 優れた音楽、演劇などの鑑賞の機会拡充に努める。
- ② 魅力ある美術展、じょんからまつり、椿まつりの開催に務める。
- ③ 町内にゆかりのある芸術家、文化団体への支援を推進する。
- ④ 町民の自主文化活動の推進に努める。

##### エ. 文化会館、情報交流館の管理運営と町民が文化に親しみやすい施設の整備

- ① 指定管理者による効率的な管理運営に務める。
- ② 文化会館、情報交流館を町民が文化の発信施設として利用しやすい整備充実を図る。

## 2. 文化施策体系



## (1) 文化遺産の保全と活用

### ア. 文化財の指定と維持管理

#### ① 文化財の指定

町内に存在する重要な文化財を調査検討し、町指定文化財として後世に継承する。

#### ② 国指定史跡の管理保全



史跡末松廃寺跡



史跡御経塚遺跡

#### ③ 町指定文化財の管理保全

農事社跡、住吉の宮、富樫館跡、徹通和尚荼毘の墓、水毛生家住宅

#### ④ 指定文化財一覧表

##### a 国指定文化財

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
建造物	重要文化財	喜多家住宅	2棟	野々市町本町3丁目8-11	喜多直次	昭46.12.28
記念物	史 跡	末松廃寺跡		〃 末松2丁目地内	野々市町	昭14.9.7
〃	〃	御経塚遺跡		〃 御経塚1丁目549	〃	昭52.3.8
考古資料	重要文化財	石川県 御経塚遺跡出土品	4,219 点	野々市町御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	〃	平22.6.29

##### b 町指定文化財

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
絵画	有形文化財	馬の図(富樫政親筆)	1幅	野々市町扇が丘7-1	金沢工業大学	昭45.3.10
書跡	〃	顯尊上人消息	1通	〃 本町3丁目13-20	照台寺	昭42.2.11
〃	〃	前田利長書状	1通	〃 本町3丁目8-11	喜多直次	昭45.3.10
〃	〃	前田利常書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	宿送人足伝馬之書	1通	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	〃
〃	〃	村御印(野々市村)	1通	〃	〃	〃
〃	〃	〃 (上林村)	1通	〃 上林3丁目124	小林喜一	昭53.3.12
〃	〃	〃 (下林村)	1通	〃 下林4丁目153	下林町内会	〃

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
書跡	有形文化財	村御印（末松村）	1通	野々市町末松1丁目56	古源一榮	昭53.3.12
〃	〃	宣如上人消息	1通	〃 本町3丁目11-14	水毛生道子	昭61.4.22
〃	〃	村御印（二日市村）	1通	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	〃
〃	〃	〃（長池村）	1通	〃 宇長池29	長井博	〃
〃	〃	〃（藤平田新村）	1通	〃 藤平128	進村栄信	〃
芸能	無形民俗文化財	野々市じょんから節		〃 本町2丁目1-20	野々市じょんから節保存会	昭42.2.11
史跡	記念物	住吉の宮		〃 本町2丁目 (布市神社)	布市神社	〃
〃	〃	徹通和尚荼毘の墓		〃 太平寺1丁目1-1	太平寺町内会	〃
〃	〃	富樫館跡		〃 本町2丁目地内	野々市町	昭45.3.10
〃	〃	農事社跡		〃 住吉町地内	〃	〃
天然記念物	〃	大公孫樹		〃 本町2丁目 (布市神社)	布市神社	昭42.2.11
〃	〃	上林の大椎		〃 上林3丁目71 (林郷八幡神社)	林郷八幡神社	昭53.3.12
典籍	有形文化財	光松山八幡宮縁起 (巻子本)	3巻	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	平2.5.29
〃	〃	光松山八幡宮縁起 (冊子本)	3冊	〃	〃	〃
書跡	〃	徳用村肝煎仕平願書	1通	〃	〃	〃
〃	〃	金谷御殿御用方赤井 喜内・山崎遐福翁覚	1通	〃	〃	〃
〃	〃	元十村役瀬尾孫三 手代建部次吉請書	1通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉通知状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	里正棟取瀬尾孫三願書	1通	〃	〃	〃
〃	〃	瀬尾孫三書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	元御住居御用弁方書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	氏神社神社号願	1通	〃	〃	〃
〃	〃	前田家家扶代多田一書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神四文字ノ由来記	1通	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神の神号額	1幅	〃	〃	〃
〃	〃	亀の字	1幅	〃	〃	〃
〃	〃	野草幽号花自香	1幅	〃	〃	〃
歴史資料	〃	鳥居	1基	〃 宇徳用町501番地	光松八幡神社	〃
〃	〃	三社の題額	1面	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神の神号額	1面	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	〃

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
絵 画	有形文化財	猿の絵	1 幅	野々市町御経塚 1 丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	平2.5.29
〃	〃	扇面	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	宝の玉の図	1 幅	〃	〃	〃
彫 刻	〃	木造狛犬	1 対	〃 宇徳用町501番地	光松八幡神社	〃
建造物	〃	旧魚住家住宅 (現郷土資料館)	1 棟	〃 本町 3 丁目19-24	野々市町	平5.2.16
〃	〃	水毛生家住宅 附 庭 園	3 棟	〃 本町 3 丁目11-14	水毛生道子	平8.1.25
工芸品	〃	脇差 (銘信長)	1 振	〃 本町 3 丁目 1 - 1	布市神社	平8.3.1
歴史資料	〃	木造厨子	1 基	〃 宇三納191	日下日吉神社	平9.6.25
〃	〃	石造山王権現神像	1 軀	〃	〃	〃
史 跡	記念物	経塚	1 基	〃 御経塚 2 丁目335	野々市町	平12.5.26
	有形文化財	附 石像傳大士像	1 軀	〃 御経塚 1 丁目182 ふるさと歴史館	〃	〃
書 跡	〃	野代村御印	1 通	〃 野代 2 丁目97	西川和昭	平14.7.4
歴史資料	〃	古源家文書	414点	〃 末松 1 丁目56	古源一榮	〃
考古資料	〃	和同開珎銀錢	1 点	〃 末松 1 丁目68	高村宏	平19.2.22
考古資料	〃	御経塚遺跡出土品	6,721 点	〃 御経塚 1 丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	平20.4.22

## イ. 文化財の保存と普及活動の推進

### ① 文化財保護審議会

町内の文化財の保存および活用に関する事項を調査審議

### ② 普及啓発事業の推進

#### ● 普及啓発事業

- ・古代体験学習（土器作り・勾玉作りなど）、文化財関係企画展示の実施
- ・旧北国街道沿である本町地区の町指定文化財などを歩きながら巡り、歴史について再認識をはかる歴史まちあるき事業の実施
- ・町内の歴史遺産めぐりのガイド冊子である『ののいち歴史探訪』を一新して刊行
- ・御経塚遺跡出土品の重要文化財指定を記念した御経塚遺跡の講演会を実施
- ・重要文化財御経塚遺跡出土品について展示公開の充実
- ・小学生を対象として町の歴史や文化を紹介するこどもホームページを作成



古代体験（土器づくり）

### ③ 文化財の保存・調査・収集

- 民具、農具、生活用具等の収集
- 天然記念物、建造物、伝承の調査
- 体験、昔話の収集、記録

- 古文書等文献資料や町の沿革に関する資料
- 富樫氏関係事業 富樫氏関係資料の収集・全国に分布する富樫一族の調査

#### ④ 文化財関係団体への助成

- 富樫卿奉賛会

### ウ. 埋蔵文化財の保護と調査

#### ① 埋蔵文化財の発掘調査、保存

事 業 名	事 業 概 要	遺跡概要
北西部土地区画整理事業関係発掘調査	三日市A遺跡 発掘調査 8,200 m <sup>2</sup>	弥生・古代・中世集落跡
	出土品整理・報告書刊行 二日市イシバチ遺跡 出土品整理・報告書刊行	
北西部公園関係発掘調査	二日市イシバチ遺跡 発掘調査 3,200 m <sup>2</sup>	弥生・中世集落跡
文化財保存修理事業	重要文化財御経塚遺跡出土品 土器詳細復元委託 史跡御経塚遺跡 復元住居等修理事業	縄文



北西部土地区画整理事業発掘調査  
(二日市イシバチ遺跡・平成22年)

### エ. 文化財関係施設の運営・維持管理

#### ① ふるさと歴史館・埋蔵文化財収蔵庫（指定管理者：（財）野々市町公共施設管理事業団）

概 要 重要文化財に指定された御経塚遺跡出土品をはじめ、弥生時代～中世の出土遺物や富樫氏関係資料・近世文献資料の展示と文化財資料の整理・収蔵。

区 分	ふるさと歴史館	埋蔵文化財収蔵庫	計
敷地面積	1,131.39 m <sup>2</sup>	509.02 m <sup>2</sup>	1,640.41 m <sup>2</sup>
建築面積	344.18 m <sup>2</sup>	180.00 m <sup>2</sup>	524.18 m <sup>2</sup>
延床面積	822.30 m <sup>2</sup>	302.00 m <sup>2</sup>	1,124.30 m <sup>2</sup>
構 造	鉄筋コンクリート2階・地下1階	鉄筋コンクリート2階	

所 在 地 野々市町御経塚1丁目182番地 電話：246-0133

開館時間 午前10時～午後4時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始

## ② 郷土資料館（指定管理者：(財)野々市町公共施設管理事業団）

概 要 町指定文化財「旧魚住家住宅」と展示棟で、農具及び明治～昭和初期の生活道具を展示。旧魚住家住宅は安政年間に建てられた農村の商家で、表構えは町屋、間取りと構造は農家となる複合構造である。天井の梁や一尺角の檼主柱、式台の厚板、囲炉裏などは、近世の民家の姿をよく伝えている。その規模は、間口 7 間（12.6m）、奥行 14 間（25.2m）である。

面 積 敷地面積 964.76 m<sup>2</sup>  
建築面積 408.58 m<sup>2</sup>（旧魚住家住宅 280.85 m<sup>2</sup>・展示棟 127.71 m<sup>2</sup>）  
延床面積 611.08 m<sup>2</sup>（旧魚住家住宅 335.63 m<sup>2</sup>・展示棟 203.45 m<sup>2</sup>・土蔵 72 m<sup>2</sup>）

構 造 旧魚住家住宅 木造瓦葺平屋（一部中 2 階）・展示棟 鉄骨造 2 階

移築年月日 平成 7 年 3 月 1 日

所 在 地 野々市町本町 3 丁目 19 番 24 号 電話：246-2672

開館時間 午前 10 時～午後 6 時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始



ふるさと歴史館



郷土資料館

## ③ 末松廃寺跡収蔵庫

概 要 白鳳時代（7世紀後半）に創建された末松廃寺跡から出土した遺物の収蔵。  
鉄筋コンクリート造り平屋建、建築面積 153.98 m<sup>2</sup>、総床面積 129.73 m<sup>2</sup>。

所 在 地 野々市町末松 2 丁目（史跡末松廃寺跡）地内

## ④ 三日市倉庫

概 要 町内埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物及び町内で収集された民具、農具、生活用具等を保管。  
コンクリートブロック造瓦葺一部木造カラー鉄板平屋建  
敷地面積 393.65 m<sup>2</sup>、建築面積 231.0 m<sup>2</sup>。

所 在 地 野々市町字三日市町 182-1

## (2) 芸術文化の振興

### ア. 文化事業の推進

#### ① 花と緑ののいち椿まつり 2012

目的 愛と和の町民憲章に謳われている「郷土を愛し緑ゆたかな住みよい町づくり」を推進するため、町花木に指定されている「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある地域環境と「賑わい」の創出に寄与する。

開催日 平成24年3月17日（土）18日（日）

場所 野々市町文化会館フォルテ・教育センター・郷土資料館

内容

- ・アート・オブ・ツバキ（椿を題材とした作品展示）
- 生け花・盆栽・鉢植え・切り花・日本画・洋画・書・写真・工芸・彫刻
- 公開文学講演会・俳句・短歌・ジュニア椿絵画等
- ・椿オリジナルステージ（民謡・ダンス・軽音楽・コーラスなど、お楽しみ抽選会）
- ・花と緑の市（椿苗・盆栽・花苗・園芸資材等の即売）
- ・特産物市（町特産品等の即売・農業振興協議会によるヤーコン等の販売）
- ・お茶席（抹茶・煎茶）
- ・つばき食堂（各種飲食ほか）
- ・囲碁・将棋大会（自由対局・大会）
- ・イベントアラカルト

委託金 3,800,000円（椿まつり実行委員会へ委託）

#### ② 野々市町美術展

町民の美術文化活動の振興とその鑑賞の機会を設ける。

期日	内容	場所
7月8日～7月18日	町民公募（日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・ジュニア）	野々市町情報交流館

#### ③ 芸術鑑賞教育

##### 1) 平成23年度

###### ●スクールシアター

劇団 野ばら 「あした あさって しあさって」

5月26日（木）町内5小学校5年生 482人

###### ●児童・生徒オーケストラ鑑賞教室

オーケストラアンサンブル金沢

6月13日（月）野々市中学校全生徒 615人



スクールシアター（平成22年度）



オーケストラ鑑賞教室（平成22年度）

## イ. 文化施設の運営・維持管理

### ① 文化会館フォルテ（指定管理者：(財)野々市町情報文化振興財団）

名 称	住 所	電話番号	開館年月	延床面積
野々市町文化会館	本町 5 丁目 4-1	248-8000	S 63.5	5,650 m <sup>2</sup>

#### ● 施設概要

##### < 1 階 >

- ・大ホール ※音楽、舞踊、演劇、講習、集会、映画など多目的に利用できます。  
収容人数 832 人 (椅子席 804 席、親子席 18 席、車椅子スペース 10 席分)  
椅子席 1 階 固定席 682 席 (うち難聴者用 32 席)  
2 階 固定席 122 席
- 舞 台 楽 屋 リハーサル室  
プロセニアム (間口 18m、高さ 8 m、スノコまでの高さ 17.9m)  
第 1 (洋) 26 m<sup>2</sup> 9 人用、第 2 (洋) 29 m<sup>2</sup> 7 人用、第 3 (洋) 39 m<sup>2</sup> 15 人用  
126 m<sup>2</sup>
- ・ふれあいホール  
カーペットタイル敷き 326 m<sup>2</sup>  
※ステージの多分割機構及び吊下式移動パネルにより、多彩な空間構成が可能です。大ホールに準じた利用・展示会・レセプション等にも利用できます。
- 収容人数 移動椅子 300 人
- 舞台機能 組立式ステージ  
(巾 7 m、奥行 4 m、ステージ高 0.3 m)
- 展示機能 吊下式パネル (大 10 枚)
- パントリ一 18 m<sup>2</sup> ※パーティーなどの準備室として利用できます。
- ・ミーティングルーム 57 m<sup>2</sup> 収容定員 20 人
- ・展示コーナー 26 m<sup>2</sup> ※町の国際交流を紹介するコーナーです。
- ・喫茶室 46 m<sup>2</sup>

##### < 2 階 >

- ・レクチャールーム 56 m<sup>2</sup> 収容定員 20 人
- ・カルチャールーム 121 m<sup>2</sup> 収容定員 48 人
- ・セミナールーム 60 m<sup>2</sup> 収容定員 25 人
- ・カンファレンスルーム 36 m<sup>2</sup> 収容定員 12 人
- ・和 室 18畳 2 間
- ・茶 室 6畳と 3 畳 (内露地有り)

##### <駐車場>

- ・駐車可能台数 330 台

#### ● 利用案内

- ・開館時間 午前 9 時～午後 10 時
- ・休館日 每月第 1・3 水曜日 (その日が祝日にあたる日は翌日)  
年末・年始、その他特別の事由により臨時休館することがある。
- ・使用申込み方法 ① 使用する日の 1 年前の日に属する月の初日から使用する日の前 3 日

- まで使用許可申請書に必要事項を記入し申し込む。
- ② 催し物を円滑に行うため、会館が指定する日に施設の使用方法など必要なことについて、係と事前打合せを行う。  
(催し物のプログラム、入場券進行スケジュールなどの提出が必要)
- ③ 使用料は、使用許可書の交付と同時に前納する。



B I G A P P L E in Nonoichi 2010 JAZZ at K. I. T

文化会館事業

月	日	曜日	事 業 名	出 演 者 等
4	3	日	フォルテ・バックスステージ・ツアー	町内住民を対象。舞台裏側などを案内
4	9	土	フォルテ改修記念 ピアノソロコンサート	オーバーホールしたピアノの演奏会を開催 出演：ウォン・ワインツアン
4	24	日	フォルテ改修記念 「ベーゼンドルファー」演奏体験 4/24（日）・10/15（土）・未定	小学生以上ピアノ経験者対象 年3回開催予定
5	29	日	光の緞帳「ルミナス」事業 ワークショップ	出演：劇団n o n o 対象：一般町民
6	4	土	フォルテ・カメリアコンサート ステージオンステージ（フォルテ） サロンコンサート（カメリア・2月）	フォルテ、カメリアを利用し 気軽に音楽を楽しめる環境を提供
6	20	月	ぬいぐるみミュージカル（共催事業）	幼児対象のぬいぐるみ劇 出演：劇団銀河鉄道
7	24	日	光の緞帳「ルミナス」事業 小発表会	出演：劇団n o n o 一般町民
7	24	日	ファミリーコンサート（年2回） 7/24（日）・9/3または4（土・日）	子ども連れで気軽に参加できるよう な内容の音楽会
7 8	25 4～8	月	県高校演劇合同発表会（共催事業）	高等学校総合文化祭と演劇合 同発表会を共催
8	25	木	宝くじまちの音楽会	プロと野々市町の合唱団が共演 出演：岩崎宏美・宗次郎
8	末		光の緞帳「ルミナス」事業 オーディション	対象：一般町民
11	15	火	N H K 公開録画 「ごきげん歌謡笑劇団！」（共催事業）	公開番組を大ホールで開催 出演：綾小路きみまろ さかなクン 他
11	26 27	土 日	B I G A P P L E i n N O N O I C H I 2 0 1 1	ニューヨークのジャズミュージシャン とムーンライト JAZZ オーケストラ他
1	28 29	土 日	光の緞帳「ルミナス」事業 市制記念公演	出演：劇団n o n o 一般町民
—	—		文化芸術協働推進事業 文化事業実行人材の育成	芸術文化振興に積極的に寄与 する人材の育成
—	—		子ども芸術文化活動支援事業 ジュニアバンド活動支援	サークル活動を支援し町の音 楽活動の発展に寄与 指導：ムーンライト JAZZ オーケストラ

② 情報交流館カメリア（指定管理者：(財) 野々市町情報文化振興財団）

名 称	住 所	電話番号	開館年月	延床面積
情報交流館カメリア	三納18街区1	227-6200	H17.1	2,798 m <sup>2</sup>

● 施設概要

<1 階>

- ・キッズコーナー 90 m<sup>2</sup> 28人 PC12台
- ・インターネットコーナー 90 m<sup>2</sup> 18人 PC 3台
- ・メディア工房 65 m<sup>2</sup> 10人 PC 9台
- ・メディアスタジオ 18 m<sup>2</sup> 2人 PC 2台
- ・サテライトスタジオ 20 m<sup>2</sup>
- ・ラウンジ 60 m<sup>2</sup> 10人 貸出用 PC6台
- ・創作ギャラリー 42 m<sup>2</sup>
- ・財団事務所 60 m<sup>2</sup>

<2 階>

- ・ホール椿（1室利用） 100 m<sup>2</sup> 100人
- ・ホール椿（2室利用） 200 m<sup>2</sup> 200人
- ・ホール椿（3室利用） 300 m<sup>2</sup> 300人
- ・201 研修室 44 m<sup>2</sup> 25人
- ・202 研修室 53 m<sup>2</sup> 30人

<3 階>

- ・301 研修室 30 m<sup>2</sup> 16人
- ・302 研修室 60 m<sup>2</sup> 21人 PC21台

● 利用案内

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 每月第2・4水曜日（水曜日が祝日の時は、その翌日）年末年始
- ・使用申込み方法
  - ① 連続使用は10日間まで
  - ② 使用する日の3か月前の月の初日から使用日の3日前までに、許可申請書及び誓約書により申し込む。
  - ③ 使用日の3日前までに、必要な事項の打合せを行う。
  - ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。



カメリア・キッズ 空間サイエンス編



カメリア・キッズ I C Tでまち探検隊編



星空観望会



開館5周年記念 カメリア祭り

## 情報交流館事業

事 業 名	事 業 内 容
カメリア紹介事業	カメリアの事業内容や施設の状況などについて効果的な広報並びに情報発信を行う。また、町の業務においての積極的な利活用を促すことを目的に、行政事業PR支援としてポスター作り等の支援を行う。
交流サロン利用促進事業	I T サポーターがパソコンツールの操作方法などをわかり易く説明する。また、地域情報化事例、機材有効活用法、各イベント等の紹介や成果品を創作ギャラリーで展示する。
カメリアパソコン教室	パソコン (XP・win7) 入門、ワード 2003・2007 入門、エクセル 2003・2007 入門、ワード 2003・2007 中級、エクセル 2003・2007 中級、デジカメ画像入門、ビデオ編集入門、ホームページビルダー入門、ワードで年賀状を開講。
カメリア・パルの会育成事業	カメリアを拠点とした交流と連携によるまちづくりを目指す「カメリア・パルの会」の活動推進。<会員数：40名>
大学連携・町民塾事業	町民が講師やI Tボランティアとして、また受講者として生涯学習に参加するインターネット町民塾を実施する。
こどもセンター事業	①放課後子ども教室 ものづくり体験や環境学習等の機会提供 ②チャレンジ教室 ものづくり体験や科学実験等を体験 ③機関紙「みんなであ・そ・ぼ」2回発行
地域情報化協働事業	①のっティ新聞 発行回数：2回 (22,000部/回) ②ののいち地域事典の拡充
映像制作事業	ビデオ製作のプロセスを通じて、地域の生活や歴史・文化等、町の魅力を再発見する力や、自らのアイディアや想いを映像を通して発信する力を養う。
科学技術理解増進事業 ・カメリア・キッズ ・星空観望会 ・I Tデジタルアート制作	前期：空間サイエンス編 全4回 後期：I C Tでまち探検隊編 全4回 ① 春の星空観望会 6月 4日 (土) ② 夏の星空観望会 未定  ののいちデジタル・パラパラまんがコンテスト 年2回開催 アニメづくりワークショップ 未定
庁舎複合スペース賑わいと交流創出事業 ～カメリア祭り～	町民同士のコミュニティを核として、賑わいのある交流の場を創出し、新たなコミュニティの形成・活性化につなげる。1,000名参加

## ウ. 文化活動団体の支援

### ① 文化活動団体の支援

芸 術 文 化 團 體	団 体 名	代表者	設立年	会員数
	文化協会（16団体）	内村栄一	61年	975名
	① 野々市じょんから節保存会	久保昇	35年	72名
	② 菊花協会	中川修	36年	19名
	③ 椿愛好会	宮崎昭男	49年	57名
	④ 美術文化協会	村井良樹	52年	86名
	⑤ 音楽文化協会	朝倉喜裕	52年	125名
	⑥ 華道協会	若島翠節	53年	73名
	⑦ 盆栽愛好会	山科哲次	54年	34名
	⑧ 圅碁協会	西永正雄	57年	85名
	⑨ 将棋協会	鈴谷久太郎	58年	85名
	⑩ 読書会連絡協議会	魚住慧子	61年	29名
	⑪ 社交ダンス愛好会	山谷光輝	61年	34名
	⑫ 民謡協会	山口正昭	H元年	82名
	⑬ 俳句協会	小林清	3年	40名
	⑭ 茶道協会	安田光男	5年	95名
	⑮ 短歌協会	香城清子	7年	29名
	⑯ 能楽愛好会	金田吉敬	16年	30名

### ② 子ども文化芸術サークルへの助成

- ・ジュニア太鼓サークル（ののっこ太鼓小嵐）
- ・ジュニア和楽器サークル（じょんからKIDS）
- ・ジュニア絵画サークル（絵画サークルパル）
- ・ののいちジュニアバンド

### ③ 富権卿奉賛会への支援

### ④ 郷土芸能伝承団体への助成

獅子舞5団体、野菜みこし、虫送り16団体、じょんから踊り2団体  
虫送り太鼓修繕補助

## VIII. スポーツ振興

### 1. 基本方針及び重点事項

#### (1) 基本方針

生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用を図ることにより、生涯に渡りだれもが参加できるスポーツ活動の推進及び競技スポーツの充実・強化に努め、一人一人が健康で豊かな生活を営み、かつ積極的に活力あふれる地域社会を構築する。

#### (2) 重点事項

##### ア. 明るく豊かな生活を支える生涯スポーツの推進

- ① 町民の健康増進を推進するため、じょんからの里マラソン大会の実施や各種スポーツ教室の充実を図る。
- ② さわやかスポーツフェスティバル、トリプルソフトバレー大会等を通じて、ニュースポーツ・レクリエーションの奨励普及に努める。
- ③ 町のホームページや広報等を活用した情報発信に努める。
- ④ 体育指導委員の活動強化と資質の向上に努める。

##### イ. 競技スポーツの振興

- ① 石川県民体育大会等上位入賞を目指した競技力の向上を図る。

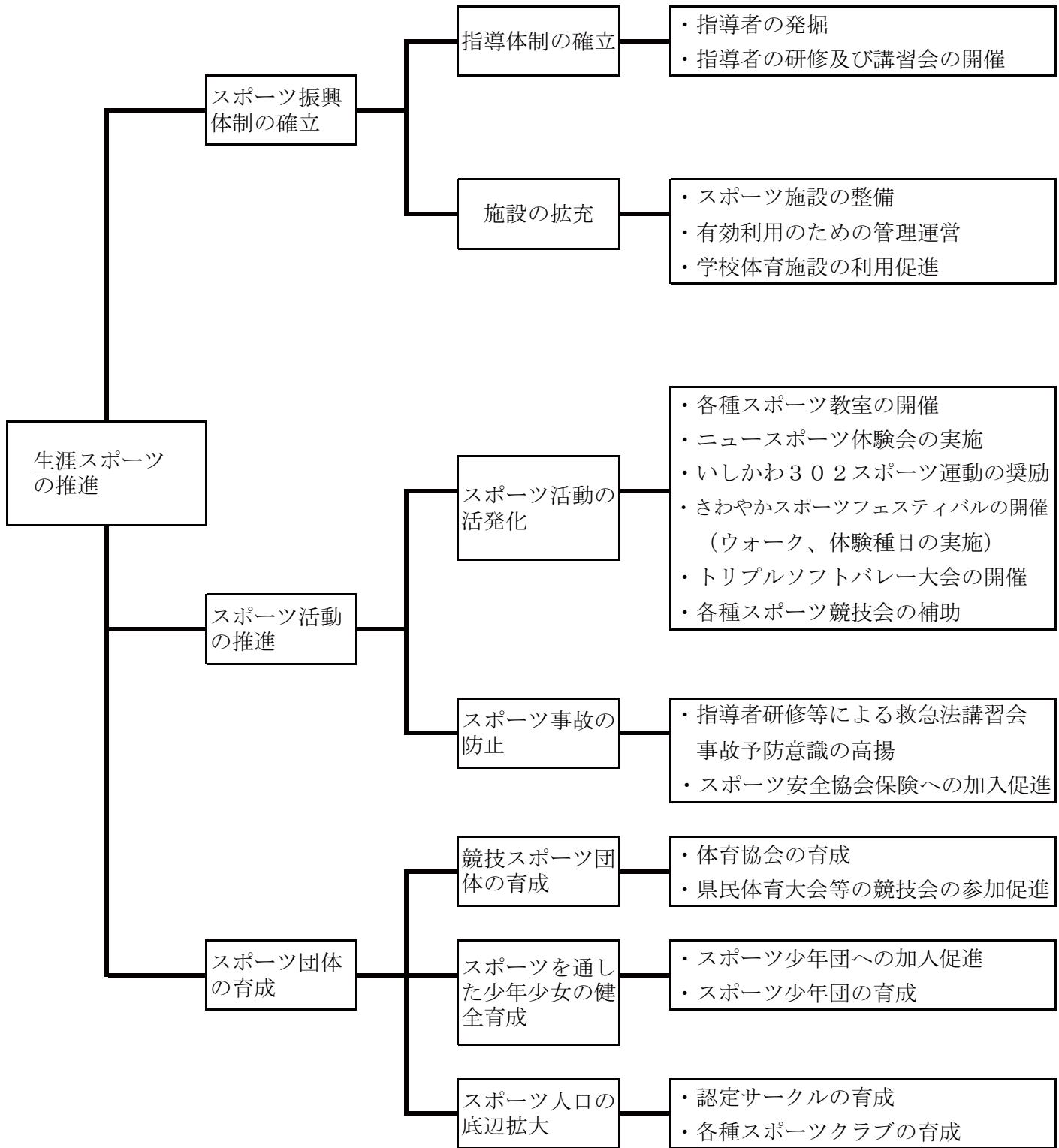
##### ウ. スポーツ関係団体の育成によるスポーツ活動の推進

- ① スポーツクラブの育成に努める。
- ② 体育協会、スポーツ少年団の組織強化に向けた取り組みを推進する。

##### エ. スポーツ施設の設備・充実

- ① 既存施設の計画的な整備・充実を図る。
- ② 指定管理者による既存施設の管理運営に対する適切な指導に努める。

## 2. スポーツ振興施策体系



(1) スポーツ振興体制の確立

ア. スポーツ振興審議会

5月27日（金）審議会開催

イ. 体育指導委員連絡協議会

・月1回の定例会の開催

・町・地域スポーツ事業等への協力

・ニュースポーツ体験会の実施

ウ. 指導者講習会・研修会の開催

・スポーツおもしろゼミナール

23年秋頃開催予定

・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会

12月開催予定

・北陸地区体育指導委員研修会

7月9日（土）～10日（日）

開催地：福井県坂井市

・石川県体育指導委員研修会

12月4日（日）

開催地：石川県鹿島郡中能登町

エ. スポーツ施設の整備

・布水中学校夜間照明改修工事

・スポーツランド幼児用プール改修工事

・武道館西側外壁等改修工事

・スポーツセンターアリーナ床等改修工事

・町民体育館大体育室改修工事

・町民野球場グランド整備工事

オ. 体育施設の管理運営

・（財）野々市町公共施設管理事業団を指定管理者として全体育施設の委託

カ. 学校体育施設の利用促進

・学校体育施設開放運営委員会及び

学校体育施設開放指導員打ち合わせ会の開催

4月22日（金）



ニュースポーツ体験会



スポーツおもしろゼミナール



スポーツ教室（わくわくうんどう教室）

(2) スポーツ活動の推進

ア. 生涯スポーツ活動推進事業

・少年少女スポーツ

・一般スポーツ

・高齢者スポーツ



イ. スポーツ情報の提供

- ・スポーツガイドの発行
- ・チラシ、ポスターの発行による行事案内
- ・町広報・ホームページによる行事案内
- ・えふえむ・エヌ・ワン「マイタウンののいち」  
での行事案内



ウ. 体育大会の開催

- ・第15回野々市町小学生相撲大会  
5月21日（土）町相撲場
- ・さわやかスポーツフェスティバル2011  
6月5日（日）、11日（土）及び12日（日）に開催 町民体育館他
- ・第30回野々市じょんからの里マラソン大会  
10月16日（日）町内マラソンコース 開催予定
- ・第3回野々市町トリプルソフトバレー大会  
平成24年3月中旬 町民体育館 開催予定

じょんからの里マラソン大会

エ. 全国スポーツ大会等出場選手への助成

- ・激励費等の支給

オ. 顕彰

- |            |                   |
|------------|-------------------|
| ・県関係       | ・生涯スポーツ功労者表彰      |
|            | ・生涯スポーツ優良団体表彰     |
|            | ・県体育指導委員協議会表彰     |
| ・県体育協会関係   | ・体育協会功労者表彰        |
|            | ・スポーツ少年団指導育成功労者表彰 |
| ・町関係       | ・特別栄誉表彰           |
|            | ・スポーツ功労表彰         |
| ・町教育委員会関係  | ・教育功労表彰           |
|            | ・教育振興表彰           |
| ・町体育協会関係   | ・体育功労賞            |
|            | ・スポーツ賞            |
|            | ・スポーツ奨励賞          |
| ・スポーツ少年団関係 | ・特別功労者表彰          |
|            | ・功労者表彰            |
|            | ・優秀クラブ表彰          |



小学生相撲大会



さわやかスポーツフェスティバル

カ. スポーツ事故の防止

- ・各種スポーツ団体へのスポーツ安全協会保険加入促進

(3) スポーツ団体の育成

ア. 体育協会 28団体（さわやかスポーツフェスティバルへの積極参加及び各種大会参加に向けた競技力の向上並びにスポーツの普及）

- ・第63回石川県民体育大会 夏季大会

8月6日(土)・7日(日) 白山市と野々市町を主会場

- ・第64回石川県民体育大会 冬季大会

平成24年2月末予定 白山市

- ・競技強化委員会による競技力の向上

- ・市民を対象としたスポーツ教室の開催（弓道、トランポリン、グラウンド・ゴルフ等）

イ. スポーツ少年団 16クラブ（少年少女の健全育成、スポーツ人口の底辺拡大）

- ・指導者・保護者研修会

平成23年秋頃予定

- ・清掃奉仕活動

7月下旬～ 町内各小学校他

- ・体力テスト会

11月27日(日) 町民体育館

- ・リーダー研修会

平成24年1月22日(土)・23日(日) 白山青年の家

- ・総合交歓会

平成24年2月26日(日) 町スポーツセンター



リーダー研修会

ウ. 各種団体

- ・スポーツ連盟クラブ 3団体

- ・認定サークル

一般スポーツクラブ 37団体

高齢者スポーツクラブ 2団体



総合交歓会



石川県民体育大会 夏季大会



石川県民体育大会 冬季大会

工. スポーツ団体一覧

① 体育協会加盟団体

	協会名	代表者名	加盟年月
1	野々市町バレーボール協会	長谷川 歩	昭和49年10月
2	野々市町剣道協会	内山利明	昭和48年8月
3	野々市町陸上競技協会	目名進	昭和48年4月
4	野々市町卓球協会	松田秀明	昭和50年10月
5	野々市町弓道協会	本多郁夫	昭和49年12月
6	野々市町ソフトボール協会	西本浩二	昭和50年4月
7	野々市町クレー射撃協会	島崎晃次	昭和50年4月
8	野々市町ボウリング協会	山崎茂	昭和50年6月
9	野々市町野球協会	安田彦三	昭和52年4月
10	野々市町バスケットボール協会	中村義彦	昭和52年10月
11	野々市町テニス協会	美谷悦郎	昭和55年4月
12	野々市町バドミントン協会	石垣審	昭和55年3月
13	野々市町スキーアクセス協会	中山巖	昭和55年11月
14	野々市町ソフトテニス協会	橋里志	昭和57年1月
15	野々市町空手道協会	大鋸鐵	昭和57年4月
16	野々市町相撲連盟	田中昭一	昭和57年7月
17	野々市町トランポリン協会	吉田修	昭和58年6月
18	野々市町サッカー協会	高谷進二郎	昭和59年4月
19	野々市町水泳協会	平野政昭	昭和59年4月
20	野々市町ゲートボール協会	塚本稔	昭和59年4月
21	野々市町柔道協会	田中教崇	昭和61年3月
22	野々市町山岳協会	吉田修	平成元年4月
23	野々市町グラウンドゴルフ協会	安嶋一夫	平成4年4月
24	野々市町ゴルフ協会	村山和雄	平成4年4月
25	野々市町太極拳協会	高野晃	平成14年1月
26	野々市町ラグビーフットボール協会	水口政尚	平成15年4月
27	野々市町パークゴルフ協会	横山平八郎	平成18年4月
28	野々市町少林寺拳法協会	石原晋	平成19年4月

② スポーツ少年団加盟団体

No.	団 体	発足年度	No.	団 体	発足年度
1	剣道スポーツ少年団	昭和48年	9	御園ミニバスケットボールクラブ	昭和56年
2	柔道スポーツ少年団	昭和54年	10	菅原学童野球クラブ	昭和57年
3	少年少女トランポリンクラブ	昭和56年	11	菅原少年サッカークラブ	昭和58年
4	野々市ジュニアアドミントンクラブ	昭和61年	12	菅原ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
5	野々市学童野球クラブ	昭和56年	13	富陽学童野球クラブ	昭和63年
6	野々市ジュニアサッカークラブ	平成2年	14	富陽サッカークラブ	昭和62年
7	野々市ミニバスケットボールクラブ	平成2年	15	館野学童野球クラブ	昭和59年
8	御園学童野球クラブ	昭和55年	16	館野ミニバスケットボールクラブ	昭和59年

③ スポーツ連盟

● ソフトボール連盟 8チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
住吉クラブ	一般	プレイボーイ	一般
シマツ一	〃	ピンクパンサー	〃
花の木クラブ	〃	粟田ソフトボールクラブ	〃
センチュリー21	〃	オクタカダッチャンズ	〃

● 壮年ソフトボールクラブ 8チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
あやめ壮年クラブ	一般壮年男子	新庄壮年ソフトボールクラブ	一般壮年男子
粟田壮年ソフトクラブ	〃	稻荷壮年ソフトボールクラブ	〃
太平寺壮年ソフトボールクラブ	〃	エレファント	〃
のらくろクラブ	〃	位川ソフトボールクラブ	〃

● 早朝日曜野球連盟 8チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
ツイスター	一般	野々市スパローズ	一般
MNO	〃	野々市町役場	〃
ブルーサンダース	〃	石さん	〃
粟田クラブ	〃	高桑美術印刷	〃

④ 町内スポーツクラブ・サークル

《女性対象》 (15 クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動場所
レディース野々市	軽スポーツ	長田正子	市民体育館
野々市卓球クラブ	卓球	宮岸外喜子	市民体育館
野々市レインボーン	トランポリン	竹田節子	市民体育館
野々市バドミントンクラブ	バドミントン	田尻江津子	野々市中学校 市民体育館 スポーツセンター
風雅	フリースタイル・ダンス	三浦紀代	スポーツセンター
ボディイA	健康増進の為の運動	二木あい	スポーツセンター
S・C・Dマリーゴールド	スコティッシュカントリーダンス	無量井澄子	スポーツセンター
野々市レディーススイミングクラブ	水泳	山岸真理子	スポーツランドプール
アクアビクス2000	水中エアロ	北川百合子	スポーツランドプール
T・V・C	バレーボール	坂尻悦子	菅原小学校
サクセス	バレーボール	蒲生英子	菅原小学校
野々市ラブリー	バレーボール	吉村朋子	館野小学校 市民体育館
みそのクラブ	バレーボール	平田洋美	御園小学校
WEED	バスケットボール	小竹忍	野々市中学校
N'wight	バレーボール	永井博美	富陽小学校

《一般対象》 (21クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動場所
フレッシュテニスクラブ茜	フレッシュテニス	松葉和子	町民体育館
野々市町トランポリン愛好会	トランポリン	横浜猛夫	町民体育館
グリップクラブ	バドミントン	林 実	町民体育館
ファイナー・クロス	ソフトバレーボール	池田美千代	町民体育館
野々市卓球愛好会	卓球	土田友雄	スポーツセンター
タウンビート	ジャズダンス	源田葉子	スポーツセンター
野々市町バウンドテニスクラブ	バウンドテニス	田村裕美	スポーツセンター
ティエトワール	クラシックバレエ	堂下美代	スポーツセンター
野々市太極拳クラブ	武術太極拳	高野晃	スポーツセンター
野々市クラブ	バスケットボール	中村義彦	野々市小学校 スポーツセンター
野々市サッカークラブ	サッカー	河智淳	布水中学校 富陽小学校
館野バドミントンサークル	バドミントン	坂戸耕洋	館野小学校
ピュアーズ	ソフトバレーボール	中島哲也	御園小学校
野々市空手クラブ	空手道	上田侑弘	武道館
少林寺拳法石川野々市クラブ	少林寺拳法	石原晋	武道館
野々市町走ろう会	ジョギング	目名進	フォルテ周辺
野々市町スノーボード協会	スノーボード	殿村和也	白山麓スキー場
w i l	トリムバレーボール	中條久美子	野々市中学校
楽しい山の会	登山	上野喜紹	県内外の山
日本空手協会野々市道場	空手道	谷川典生	館野小学校 富陽小学校
空手野々市クラブ	空手道	出口正人	富陽小学校

《高齢者対象》 (2クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動場所
野々市若葉健康クラブ	軽スポーツ等	山森義之	町民体育館
野々市椿健康クラブ	軽スポーツ等	田川修身	スポーツセンター

### 3. 体育施設

#### (1) 社会体育施設

##### ア. 施設概要

単位 : m<sup>2</sup>

施設名	位置	規模	施設内容	完成年月日
野々市市民体育館	下林3丁目97	4,433 駐車場 2,303	大体育室 (42.40m × 34.45m) 小体育室 (22.00m × 13.50m) トレーニング室 ランニングコース (1周148m) 会議室	昭和55年11月30日
野々市町武道館	字位川183	1,072	柔道場 (14.92m × 18.42m) 剣道場 (14.92m × 22.10m) 研修室	昭和53年1月12日
野々市町弓道場	太平寺3丁目128	860	射場棟 (89.43m <sup>2</sup> ) 的場棟 (26.75m <sup>2</sup> )	昭和56年9月30日
野々市市民野球場 雨天練習場	下林3丁目97	14,754 168 駐車場 822	両翼91.5m 中堅120m 管理棟スコアボード 内野スタンド 1,300人 } 収容 外野スタンド 1,600人 } 収容 夜間照明(12,778m <sup>2</sup> )内野(1,150ルックス) 外野(600ルックス) 照明塔(6基) 野球・ソフトボール投球練習用 2面	昭和61年9月29日 昭和62年12月15日
野々市町相撲場	下林3丁目97	886	入母屋型屋根付 (照明有) 観客約400席	昭和63年8月31日
野々市中央公園 テニスコート	下林3丁目97	1,600	全天候型コート 2面 夜間照明 被照明面積 (1,600m <sup>2</sup> ) 平均照度 (250ルックス) 照明塔 (4基)	昭和55年3月30日
野々市中央公園 運動広場	下林3丁目97	9,123	ソフトボール場 1面 夜間照明 被照明面積 (8,000m <sup>2</sup> ) 平均照度 (350ルックス) 照明塔 (6基)	昭和55年11月30日
ジョギングコース	下林3丁目		ジョギングコース ブルーコース 1,200m レッドコース 900m イエローコース 500m	平成2年3月26日
野々市町簡易運動広場	太平寺3丁目129	1,600	ストリートバスケットコート } 芝生広場 1面 } (1,600m <sup>2</sup> )	平成13年1月31日
野々市町健康広場	上林1丁目180	16,713	ソフトボール場 2面 ジュニア用サッカー場 1面 管理棟	昭和53年3月30日
押野中央公園 運動広場	押野1丁目339	5,860	ソフトボール場 1面	昭和61年3月25日

野々市町 スポーツランド	中林5丁目1-1	25,276	○プール 研修室 40名収容 競泳用温水プール 25m×15m 児童用温水プール 10.5m×6.3m トレーニングプール、ジャグジー プール ウォーターアスレチックプール 16m×22m 流水プール 72m×5 m  ○さわやかホール クレー舗装ゲートボールコート 2面  ○テニスコート 砂入り人工芝コート 4面 " 壁打ちコート 1面 夜間照明 被照明面積 2,700m <sup>2</sup> 平均照度 350ルックス 照明塔 20基  ○ふれあい広場 芝張り多目的広場 3,713m <sup>2</sup>	平成4年3月25日
野々市町 スポーツセンター	押野2丁目30	5,542	アリーナ (44.5m×33.4m) サブアリーナ (22.6m×12.3m) ランニングコース (1週160m) トレーニングルーム 会議室	平成3年11月29日

#### イ. 施設の利用状況

平成22年度野々市町体育施設の利用状況及び使用料報告

単位：人、円

施設名	利用件数	利用者総数	使用料
町民体育館	31,861	64,797	1,032,925
町民野球場	696	15,510	1,343,900
中央公園テニスコート	1,164	2,263	638,700
スポーツセンター	25,466	66,932	1,759,550
武道館	889	19,090	89,850
簡易運動広場	3,655	17,047	0
中央公園運動広場	285	13,657	200,875
押野中央公園運動広場	176	7,306	245,750
健康広場	144	5,455	326,750
相撲場	2	338	0
スプラン・テニスコート	5,398	15,350	988,900
スプラン・さわやかホール	1,650	13,286	554,350
スプラン・プール	40,234	50,522	7,404,100
スプラン・研修室	74	326	0
合計	111,694	291,879	14,585,650

(2) 学校体育開放施設

ア. 施設概要及び利用について

施 設 名	使 用 で き る 時 間	利 用 の 範 囲 等
野々市中学校	運動場	日曜日 午前8時30分～日没
	運動場 夜間照明	平日 午後7時～午後9時
	体育館	午後7時～午後9時30分
布水中学校	運動場	日曜日 午前8時30分～日没
	運動場 夜間照明	平日 午後7時～午後9時
野々市小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没
	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時
	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没
菅原小学校	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時
	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没
御園小学校	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時
	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没
富陽小学校	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時
	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没
館野小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没
	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時
<p>※ 但し、使用できる日時については上記以外に学校教育上支障がないと認められた場合においては使用することができる。</p> <p>全施設とも12月28日～1月4日は使用不可。</p>		

イ. 利用状況

平成22年度 学校体育施設開放利用状況

		H22年4月～H23年3月																													
		スポーツ少年団						一般クラブ			ナイターソフト連盟			社会教育関係			町内会等			町教育委員会関係等			スポーツ講習会・教室			その他			合計		
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
野々市小	運動場	94	2,725											1	460												95	3,185			
	体育館	280	8,149	41	712					2	385															323	9,246				
御園小	運動場	99	3,216							2	830															101	4,046				
	体育館	281	7,738	145	1,961					1	180															427	9,879				
菅原小	運動場	201	5,644							1	1,500															2	800	204			
	体育館	267	8,281	122	2,123					5	636															2	800	396			
富陽小	運動場	185	5,994							6	1,640			1	90												192	7,724			
	体育館	112	3,068	172	3,357					14	1,297															293	7,722				
館野小	運動場	144	5,168							2	725																				
	体育館	163	4,675	144	2,457					2	718															1	110	147			
野々市中	運動場			1	200																					22	2,200	23			
	体育館			113	1,880																					113	1,880				
布水中	運動場			69	1,014			69	1,333	7	170															145	2,517				
	体育館																														
小計	ブル																														
	運動場計	723	22,747	70	1,214			69	1,333	18	4,865	2	550													25	3,110	907			
	体育館計	1,103	31,911	737	12,490							24	3,216													2	800	1,866			
	小体育館計																														
	ブレイルーム計																														
	ブル合計																														
総合計		1,826	54,658	807	13,704	69	1,333	42	8,081	2	550														27	3,910	2,773				

## 各種委員会委員等

### 町 特 別 職

町 長 粟 貴 章  
副 町 長 田 中 宣

### 教 育 委 員

委 員 長 北 本 正  
職 務 代 理 德 田 寿 秋  
委 員 荻 野 直 子  
〃 中 野 惠 美 子  
〃 松 野 勝 夫  
委員(教育長) 村 上 維 喜

### 野々市町就学指導委員会

委 員 長 浅 井 恭 一  
委 員 中 村 英 夫  
〃 割 崎 康 江  
〃 西 村 優 紀 美  
〃 榊 原 清 志 (野々市小学校長)  
〃 濱 田 利 幸 (御園小学校長)  
〃 新 保 修 (菅原小学校長)  
〃 藤 森 慎 一 (富陽小学校長)  
〃 橋 本 有 可 (館野小学校長)  
〃 橋 口 有 康 (野々市中学校長)  
〃 宮 本 浩 一 (布水中学校長)  
〃 山 崎 由 治 (子育てあんしん課長)  
〃 南 川 陽 子 (御経塚保育園長)  
〃 北 一 也 (学校教育課長)

## 社会教育委員会

議長	山本 邦継	
委員	奥村 善久	
〃	北川 千里	
〃	桑村 佐和子	
〃	谷川 典生	(町子ども会育成連絡協議会)
〃	西脇 孝二	
〃	藤森 慎一	(富陽小学校長)
〃	藤多 典子	
〃	宮本 浩一	(布水中学校)
〃	宮川 渉	
〃	室山 統	(P T A連合会)
〃	吉道 悅子	

## 公民館長等

中央公民館	魚野 孝次郎
野々市公民館	田多野 和彦
富奥公民館	西本 正明
郷公民館	中村 一好
押野公民館	塚本 省司
少年育成センター	山本 邦継
女性センター	大村 礼子

## 公民館運営審議会

### 中央公民館

委 員	上 野 弘 子
"	北 村 淳 平
"	新 保 修 修
"	(菅原小学校)
"	竹 本 忠 利
"	藤 田 雅 顯
"	藤 力
"	帆 莢 宏 典
"	松 本 智 子
"	村 上 慎 市
"	無量井 智 一

### 野々市公民館

委 員	榎 原 清 志
	(野々市小学校)
	谷 川 典 生
"	田 村 喜久恵
"	田 中 陽 子
"	藤 力

### 富奥公民館

委 員	金 田 誠 治
"	北 村 淳 平
"	栗 山 源一郎
"	辻 まさ子
"	藤 森 慎 一
	(富陽小学校)

### 郷公民館

委 員	岡 田 充 晴
"	澤 村 佳 利
"	谷 本 紀 子
"	濱 田 利 幸
"	(御園小学校)
	村 上 慎 市

### 押野公民館

委 員	加 藤 靖 二
	西 川 有希枝
	橋 本 有 可
"	(館野小学校)
"	藤 田 雅 顯
"	室 山 統

## 図書館協議会

委 員	赤 江 利 香
"	魚 住 慧 子
"	川 上 秀 子
"	中 村 恵 子
"	半 村 民 雄
"	帆 莉 宏 典

## 女性センター運営委員会

委 員	黒 部 美恵子
"	福 井 満佐美
"	村 上 治 美
"	村 上 他喜子
"	山 口 知 子

## 青少年問題協議会

会長	栗 貴 章	(町長)
委員	藪 森 喜 美	(野々市明倫高等学校)
"	大崎 治 男	(P T A連合会)
"	絹川 博	(民生・主任指導委員)
"	菅 井 茂	(松任警察署)
"	寺 岡 敏 彦	(保護司会)
"	藤 森 慎 一	(富陽小学校)
"	藤 多 典 子	(女性協議会)
"	藤 力	(連合町内会)
"	宮 崎 昭 男	(社会福祉協議会)
"	宮 本 浩 一	(布水中学校)
"	望 月 昇	(石川中央保健福祉センター)
"	山 本 邦 繼	(社会教育委員会)
"	村 上 維 喜	(教育長)
"	岡 田 晴 彦	(健康福祉部長)
"	森 元 裕	(教育文化部長)
幹事	北 一 也	(学校教育課長)
"	下 浦 勝 義	(生涯学習課長)

## 少年育成センター運営協議会

会長	絹 川 博	
副会長	角 田 敏	(布水中学校)
委員	稻 村 佐紀子	
"	漆 原 伸 秀	
"	岡 田 實	
"	川 渕 功	(菅原小学校)
"	古 村 充	(学校教育課)
"	滝 谷 一 志	(野々市交番)
"	鍔 泰	
"	永 井 康 昭	(野々市明倫高等学校)
"	中 村 行 也	
"	廣 谷 良 弘	(野々市中学校)
"	宮 前 克	
"	山 本 賢 太	

## 文化財保護審議会

会	長	徳田寿秋
委	員	三浦純夫
"		北春千代
"		小林忠雄
"		木越隆三

## スポーツ振興審議会

会	長	山口直
副	会長	森田敦志
委	員	橋本孝
"		南部直枝
"		牧口茂子

## 学校体育施設開放運営委員会

委 員	廣 谷 良 弘	(野々市中学校)
"	角 田 敏	(布水中学校)
"	北 本 直 美	(野々市小学校)
"	上 林 泰 子	(御園小学校)
"	川 淵 功	(菅原小学校)
"	鶴 岡 恒 久	(富陽小学校)
"	南 山 俊 朗	(館野小学校)
"	西 村 敬 司	
"	館 真由美	
"	吉 田 雄 次	
"	坂 下 大 祐	
"	福 永 優美子	
"	中 薮 晃	
"	田 尻 江津子	
"	押 田 克 夫	
"	坂 尻 悅 子	
"	魚 谷 龍 平	

## 体育指導委員連絡協議会

会 長	長 谷 川 芳 彦	彦
副 会 長	大 崎 正 子	正
"	長 田 正 子	
委 員	西 野 辰 雄	雄
"	西 安 中 秀	行
"	藤 井 誠	
"	森 岡 孝 之	之
"	永 井 敏 昌	昌
"	蒲 博 幸	幸
"	沢 口 了 章	章
"	亥 野 正 治	治
"	市 本 仁 子	子
"	黒 瀬 千代子	
"	一 ノ 谷 美知子	
"	西 谷 真知子	
"	宮 本 真由美	
"	川 井 智 子	
"	高 坂 良 恵	
"	畠 紀 子	
"	竹 田 優 子	

町立学校長等

野々市小学校	校長	榎原清志	教頭	北本直泰	美子功
御園小学校	〃	濱田利幸	〃	上川淵	久朗
菅原小学校	〃	新保修	〃	鶴岡恒俊	弘敏
富陽小学校	〃	藤森慎一	〃	南山廣谷	良角
館野小学校	〃	橋本有可	〃	南廣谷	良角
野々市中学校	〃	橋口有康	〃	南廣谷	良角
布水中学校	〃	宮本浩一	〃	南廣谷	良角

北陸学院扇が丘幼稚園

園長 楠本史郎

青竜第二幼稚園

〃 和田節子

石川県立野々市明倫高等学校

校長 蘭森喜美

石川県立明和特別支援学校

〃 浦嶋千代美

石川県公立大学法人石川県立大学

学長 松野隆一

金沢工業高等専門学校

校長 山田弘文

金沢工業大学

学長 石川憲一

## 歴代教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
中島栄治	31. 10. 1	34. 1. 31	委員長 31. 10. 1~34. 1. 31
福田栄正	31. 10. 1	32. 9. 30	
西村伸一郎	31. 10. 1	42. 9. 30	委員長 34. 2. 1~42. 9. 30
中川直二	31. 10. 1	47. 3. 31	委員長 42. 10. 1~47. 3. 31
松崎時哉	31. 10. 1	35. 9. 30	教育長
中山知二	32. 10. 1	36. 3. 31	
河村好一郎	34. 4. 1	46. 3. 29	
長田健	35. 10. 1	37. 10. 28	教育長
小柳正明	36. 4. 1	47. 3. 9	
竹内保之	37. 12. 18	46. 12. 16	教育長
中野栄吉	42. 10. 1	46. 9. 30	
中野久男	46. 6. 11	59. 9. 30	委員長 47. 4. 1~51. 9. 30
宮前和夫	46. 10. 1	58. 9. 30	委員長 51. 10. 1~55. 9. 30
中田哲	46. 12. 24	51. 9. 30	教育長
魚住正元	47. 3. 10	51. 3. 12	
岡田一郎	47. 6. 30	57. 9. 30	委員長 55. 10. 1~57. 9. 30
絹川清	51. 3. 12	54. 12. 20	
埜谷博	51. 10. 1	55. 9. 30	教育長(就任 51. 10. 7)
宮岸光	54. 12. 21	6. 5. 26	委員長 57. 10. 1~61. 9. 30
東谷弘	55. 10. 1	8. 9. 30	教育長
坂本六郎	57. 10. 1	6. 9. 30	委員長 61. 10. 1~2. 9. 30
木村博	58. 10. 1	62. 9. 30	
高桑繁	59. 10. 1	12. 9. 30	委員長 2. 10. 1~6. 9. 30
矢野喜一郎	62. 10. 1	7. 9. 30	委員長 6. 10. 1~7. 9. 30
喜多禎一	6. 6. 20	21. 9. 30	委員長 7. 10. 1~11. 9. 30
清水外司英	6. 10. 1	22. 9. 30	委員長 11. 10. 1~15. 9. 30
宮前定夫	7. 10. 1	14. 9. 30	
田村昌俊	8. 10. 1	16. 9. 30	教育長
北本正	12. 10. 1	在任中	委員長 15. 10. 1~
鶴見光男	14. 10. 1	19. 9. 30	
田中宣	16. 10. 1	20. 3. 30	教育長
徳田寿秋	19. 10. 1	在任中	
村上維喜	20. 3. 31	在任中	教育長
荻野直子	20. 10. 1	在任中	
中野恵美子	21. 10. 1	在任中	
松野勝夫	22. 10. 1	在任中	

## 町内施設住所・電話番号一覧

名 称	住 所	電話番号	名 称	住 所	電話番号
<b>公共施設</b>					
①野々市町役場	野々市町三納18街区1	227-6000	④富陽小学校	野々市町中林5丁目70	246-4380
①野々市町教育委員会	"	227-6111	⑤館野小学校	押野3丁目71	248-0622
①野々市町情報交流館	"	227-6200	⑥野々市中学校	字三納300	246-0115
②野々市町水道管理センター	高橋町3-33	248-5000	⑦県立明和特別支援学校	押野2丁目100	248-0039
③野々市町高区浄水場	新庄2丁目22	248-3828	⑧県立野々市明倫高等学校	中林4丁目70	246-1133
④野々市町文化会館	本町5丁目4-1	248-8000	⑨石川県立大学	下林3丁目309	246-3191
⑤野々市町教育センター		248-8456	⑩金沢工業大学	末松1丁目308	227-7220
⑤野々市町少年育成センター	本町4丁目21-27	294-8815	⑪野々市町学校給食センター	扇が丘7-1	248-1100
⑥野々市町スポーツセンター	"	294-5511		太平寺3丁目148	246-3066
⑦野々市町中央公民館	押野2丁目30	248-0521	<b>社会福祉施設</b>		
⑦野々市町野々市公民館	本町2丁目1-20	248-0521	⑫中央保育園	本町3丁目2-22	248-0240
⑧野々市町立図書館	"	248-8099	⑬富奥保育園	中林5丁目30	248-0828
⑨野々市富奥公民館	本町2丁目14-6	248-0829	⑭押野保育園	押野3丁目115	248-0343
⑩野々市町郷公民館	中林5丁目3	248-0250	⑮野々市町押野児童館	"	248-9666
⑪野々市町押野公民館	字田尻町94	248-2839	子育て支援センター押野	"	248-0290
⑫野々市町青少年センター	押野3丁目70	246-0250	⑯御経塚保育園	御経塚1丁目288	248-0181
⑯末松廃寺収蔵庫	住吉町17-10	246-0133	⑰栗田保育園	栗田1丁目126	246-3737
⑯野々市町埋蔵文化財収蔵庫	末松2丁目	246-0133	⑱ほりうち保育園	堀内4丁目160	248-2320
⑯野々市町ふるさと歴史館	御経塚1丁目182	246-0133	⑲あすなろ保育園	御経塚5丁目30	246-0211
⑯野々市町郷土資料館	"	246-2672	⑳白山保育園	白山町4-2	248-4337
⑯野々市町武道館		246-4985	㉑和光保育園	扇が丘18-13	248-6250
⑯野々市町民体育館	本町3丁目19-24	248-1223	㉒つばき保育園	太平寺1丁目302	248-1155
⑯野々市中央公園テニスコート	宇位川183	"	㉓子育て支援センター菅原	菅原町8-33	248-4634
⑯野々市中央公園運動広場	下林3丁目97	"	㉔エンジェル保育園	本町6丁目22-1	248-2888
㉑野々市町相撲場	"	"	㉕ふじひら保育園	藤平142	246-1181
㉑野々市町民野球場	"	"	㉖野々市町保健センター	字三納500番-1	248-3511
㉑野々市町簡易運動広場	"	"	㉗社会福祉法人野々市町社会福祉協議会	本町5丁目18-5	246-0112
㉑野々市町弓道場	"	"	㉘野々市町老人福祉センター椿荘	矢作3丁目1-2	246-5570
㉑野々市町健康広場	太平寺3丁目129	248-0067	㉙野々市町中央児童館	"	248-5325
㉑野々市町スポーツランド	太平寺3丁目128	294-5800	㉚野々市市デイサービスセンター	矢作3丁目3	248-9900
㉑押野中央公園運動広場	上林1丁目180		㉛野々市町本町児童館	本町3丁目10-12	246-3881
㉑野々市町交遊舎	中林5丁目1-1	294-8166	㉜野々市町女性センター	稻荷4丁目155	246-0810
㉑松任警察署野々市交番	押野1丁目180	248-0059	㉝石川県百々鶴荘	上林1丁目179	248-4775
㉑松任警察署野々市南交番	二日市1丁目2	294-1500	㉞石川県立身体障害者授産所	末松2丁目229	248-9300
㉑白山石川広域事務組合	本町6丁目22-2	248-9119	㉟石川県障害者職業センター	末松2丁目244	246-2210
㉑野々市消防署	藤平138-1	248-0100	㉟石川障害者職業能力開発校	末松2丁目245	248-2235
㉑J R野々市駅	本町5丁目17-8	294-8303	㉜社会福祉法人石川サニーメイト	末松2丁目239	248-0294
㉑社団法人野々市町シルバーパートナーセンター	字二日市612		㉝石川県としよりと子供の健康ひろば	上林2丁目185	246-0130
㉑野々市町防災コミュニティセンター	白山町8-15	248-3412	㉞ときわ病院	中林4丁目123	248-5221
㉑のいちまち地域安全センター	本町1丁目2-50		㉟社会就労センターけやき野苑	中林1丁目1-1	248-4871
<b>学校施設</b>	扇が丘97-6		㉟特別養護老人ホーム富樫苑	中林4丁目62	248-8765
㉑北陸学院扇が丘幼稚園		248-1501	㉟野々市町いきがいセンター矢作	矢作3丁目2-10	246-2007
㉑青竜第二幼稚園		248-5656	㉟野々市町いきがいセンター御経塚	御経塚1丁目38	248-2231
㉑野々市小学校	本町5丁目6-23	248-0084			
㉑御園小学校	上林3丁目167	248-3201			
㉑菅原小学校	本町5丁目3-1	246-6066			
	稻荷4丁目128				
	菅原町20-1				

石川県略図



## 町内施設配置図

